

I 令和4年度事業報告

新宿区社会福祉協議会第4次経営計画2019～2023 施策と各事業

施策1 支えあい活動に参加するきっかけづくり	5
1. 福祉教育・福祉体験学習の推進	5
2. いつでも体験ボランティア	5
3. 介護支援等ボランティア・ポイント事業【区委託】	6
4. 視覚・聴覚障害者支援事業【区委託】	6
施策2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援	7
1. 生活支援体制整備事業【区委託】	7
2. 地域活動者実践講座	10
3. 認知症サポーターステップアップ事業【区委託】	11
4. ふれあい・いきいきサロンの運営支援	11
5. 成年後見センター事業【重点事業】	12
6. 地域ささえあい活動助成金	12
施策3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援	16
1. 暮らしの総合相談事業【重点事業】	16
(1)暮らしの総合相談	16
(2)車椅子・地域行事用機材の貸出	17
2. 自立相談支援・貸付事業【重点事業】	18
(1)総合相談件数	18
(2)自立相談支援事業【区委託】	19
(3)生活福祉資金貸付事業【東社協委託】	19
(4)受験生チャレンジ支援貸付事業【区委託】	20
(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【東社協委託】	20
(6)応急小口資金貸付事業	20
(7)緊急援護事業	20
(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付【東社協委託】	20
3. 成年後見センター事業【重点事業】	21
(1)成年後見制度利用推進事業【区委託】	21
(2)法人後見事業	23
(3)地域福祉権利擁護事業【東社協委託】	24
4. 避難者支援	25
施策4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現	25
1. ちょっと・暮らしのサポート事業	26
2. 地域見守り協力員事業【区委託】	27
3. ファミリーサポート事業【区委託】	29

施策5	さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展	30
1.	地域団体との連携【重点事業】	30
(1)	社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進	30
(2)	民生委員・児童委員協議会との連携	32
(3)	町会・自治会等地域団体との連携	32
(4)	出前講座の実施	33
(5)	NPO・新宿 CSR ネットワーク等との市民活動の支援	33
2.	生活支援体制整備事業（再掲）【区委託】	34
施策6	新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化	34
1.	総合的な広報事業【重点事業】	34
(1)	ボランティア情報の発信	34
(2)	広報紙「けやき」等の発行	34
(3)	ホームページ、SNS の運用	35
2.	広聴事業【重点事業】	35
(1)	情報公開・個人情報保護	35
(2)	第三者委員会の設置	36
施策7	地域福祉推進のための財源基盤の拡充	36
1.	会費会員の拡充【重点事業】	36
2.	共同募金の普及・啓発（募金文化の醸成）【重点事業】	36
(1)	共同募金会新宿地区協力会理事会	36
(2)	赤い羽根共同募金運動	36
(3)	歳末・地域たすけあい運動募金	37
3.	寄附の募集【重点事業】	37
4.	収益事業（自販機の設置等）【重点事業】	38
施策8	新宿社協の組織運営と組織基盤の整備	38
1.	新宿社協の組織運営	38
(1)	理事会・評議員会・推進部会の運営	38
(2)	社協部会の運営	40
2.	職員の育成	40
3.	IT 推進・情報管理	41
4.	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	42
施策9	災害対策の推進	42
1.	災害時危機管理対策	42
2.	災害ボランティアセンターの運営支援等	42

1 支えあい活動に参加するきっかけづくり

1 福祉教育・福祉体験学習の推進

(1) 学校・団体への支援

種 別	対 象	内 容	延参加者数					
			令和4年度			令和3年度		
福祉教育の支援	幼稚園・子ども園 小学校・中学校 高等学校	各学校が行う福祉体験学習等への企画協力や講師紹介を行う。 地域の障害者や高齢者等との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区	608	人	東地区	513	人
			中央地区	570	人	中央地区	333	人
			西地区	433	人	西地区	89	人
			計	1,611	人	計	935	人
授業協力	大学 専門学校		東地区	0	人	東地区	0	人
			中央地区	46	人	中央地区	0	人
			西地区	80	人	西地区	33	人
			計	126	人	計	33	人
企業等への支援	企業 地域団体	企業・団体が開催する、福祉やボランティア、多様性理解等の学びの場への協力	東地区	0	人	東地区	0	人
			中央地区	20	人	中央地区	43	人
			西地区	0	人	西地区	0	人
			計	20	人	計	43	人
職場体験学習受入	中学校	区立中学校が実施する「職場体験学習」における、生徒の受け入れを協力	東地区	1校	2人	東地区	0校	0人
			中央地区	1校	2人	中央地区	1校	3人
			西地区	0校	0人	西地区	0校	0人
			計	4	人	計	3	人

(2) 情報交換会

福祉教育の協力者・団体と教育委員会・副校長を対象に行った。

開催日時	場 所	内 容	参加者数
3月14日 14時～15時30分	新宿区立 教育センター	①講義「障害者理解教育について」 (講師:教育委員会教育指導課 北中 啓勝氏) ②協力者による体験学習発表会 ・新宿区聴覚障害者協会・手話サークル ・新宿トライ工房 ・新宿区手をつなぐ親の会・疑似体験キャラバン隊『Winds』 ・ジャパンベストレスキューシステム(株)	25人

2 いつでも体験ボランティア

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、現状でもできるボランティア活動を企画、実施した。

内 容		延参加者数	
		令和4年度	令和3年度
施設・団体等での体験ボランティア		21 人	8 人
おたよりボランティア(令和4年度は実施なし)		0 人	延78 人 (実数6名3団体)
敬老の日おたよりボランティア		55 人	127 人
オンライン体験ボランティア (施設とボランティアの自宅を オンラインでつなぎ、交流を 行った。)	7月21日 「デイサービス笑み」との交流	6 人	同施設にて 実施 (8月18日) 4 人
	8月1日 「新宿福祉作業所」との交流	3 人	同施設にて 実施 (8月27日) 4 人
	8月3日 「デイサービスひまわり亭 西新宿」との交流 ※中止	—	あゆみの家 にて実施 (8月30日) 5 人
「視覚障害がある人とお話しよう！」 講師:株式会社アクトコール 木暮 雅寿氏		6 人	—

3 介護支援等ボランティア・ポイント事業(区委託事業)

(1) 登録者数

	令和4年度	令和3年度
参加登録者数 (うち重複者数)	1,285 人 (384 人)	1,193 人 (347 人)
内訳: 施設での活動者	468 人	451 人
地域見守り協力員	397 人	371 人
ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員	312 人	276 人
家族会の活動者	30 人	26 人
認知症介護者家族会の活動者	26 人	25 人
地域安心カフェの活動者	52 人	44 人

(2) 施設でのボランティア活動

	令和4年度	令和3年度
参加登録講習会の開催	4 回	4 回
研修・交流会の開催	1 回	1 回
受入施設数	76 カ所	79 カ所
受入施設での実活動者 ※	350 人	183 人

※1年間の実活動者延べ人数

(3) 施設・団体ボランティア受入学習会

目 的	施設・団体のボランティア受入担当者を対象に、ボランティアコーディネーターとしての学習の機会と、分野を超えた施設・団体間の情報交換及び地域との協働への視点を養う。		
開催日時	場 所	内 容	参加者数
第1回 6月29日(水) 14時～15時30分	WEB	施設・団体ボランティア受入学習会(入門編) ・ボランティアコーディネートの基本について ・コロナ禍におけるボランティア受入れについて ・交流会・情報共有 講師:特別養護老人ホーム 聖母ホーム 近藤 秋子氏	14 人
第2回 11月11日(金) 14時～16時	戸塚地域 センター	コロナ禍でもできるレクリエーションを学び、ボランティアに活かそう! ・コロナ禍でもできるレクリエーションについて ・施設職員とボランティアとの交流会・情報共有 講師:公益財団法人 日本レクリエーション協会 津幡 佳代子氏 【施設・団体向け受入連絡会】 施設職員同士の交流・情報交換、現在の受入状況など ※介護支援等ボランティア・ポイント事業活動者向け研修と 合同開催	施設職員 8人 活動者 14人

(4) 施設・団体ボランティアコーディネート事業

①登録数

	令和4年度	令和3年度
利用団体数	194 団体	190 団体
活動団体数	101 団体	97 団体
活動者数	1,286 人	1,211 人
延活動回数	1,846 回	1,400 回

4 視覚・聴覚障害者支援事業(区委託事業)

(1) 利用者数

	令和4年度	令和3年度
視覚障害者交流コーナー	延 2,072 人	延 1,540 人
聴覚障害者交流コーナー	延 654 人	延 577 人

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等に伴い、開所時間を短縮。(通常は21時まで)

・令和3年4月1日～9月30日の間は、20時まで

(2) サービス利用件数

	令和4年度	令和3年度
代読・代筆サービス	延 28 件	延 53 件

(3) 講座の開催支援

講 座 名	回数等	内 容	参加者数
「令和4年度 夏休み特別企画 聞こえないって？～聴覚障害を 学ぼう～」 講師：新宿区聴覚障害者協会 秋山 郁子氏	①小学1～3年生 ②小学4～6年生 ③中学生 ※各1時間が2回の 連続講座	小中学生の学年別に聴覚障害者の 理解講座を行った。	① 7 人 ② 4 人 ③ 2 人
「入門手話教室」 (新宿区聴覚障害者協会共催)	全15回 (8/27～3/18)	聞こえない人と関わりながら学ぶ、 初心者向けの手話講座	15人 修了者 9人
開設10周年記念講演 「新型コロナウイルス感染症と メンタルヘルス」	動画配信期間 12/26～1/31	自己管理のメンタルヘルスのポイン トを学び、心身の健康維持に役立て る。 講師：医療法人 風のすずらん会 美唄すずらんクリニック 精神科医 福場 将太氏	視聴回数 2,002 回

2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援

1 生活支援体制整備事業（区委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の訪問型・通所型サービス創出、生活支援の担い手養成、高齢者等が担い手として活動する場の推進等、地域全体で高齢者を支えるためのしくみづくりを行う。

(1) 生活支援体制整備協議会の運営

定期的な情報の共有・連携強化を目的とし、多様なサービス提供主体等が参画する協議会について、区と連携し、運営した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回は来所・WEB併用で開催した。

回	開催日時	行 事 名	内 容	出席委員
1	7月15日 9時30分～ 11時30分	第1回 生活支援体制 整備協議会	・委員委嘱 ・委員紹介及び会長・副会長の選出 ・新宿区生活支援体制整備事業について ・令和3年度の事業実施報告 ・令和4年度の取り組みについて (1)第1層生活支援コーディネーターからの報告 (2)第2層生活支援コーディネーターからの報告 ・生活支援体制整備に関する協議・意見交換 (1)地域のつながりづくりに必要な取り組みについて (2)地域での活動を継続していくために必要な取り組みについて	来所 5 人 WEB 11 人
2	2月9日 10時～12時	第2回 生活支援体制 整備協議会	・委員交代について ・講座・シンポジウム実施結果報告 ・普及啓発資料の発行について ・通所型住民主体サービス事業について ・各圏域における第2層生活支援コーディネーターの活動について ・意見交換 「地域におけるゆるやかなつながりづくりについて」 (1)地域のつながりづくりにおける課題 (2)ゆるやかにつながるために出来ること	14 人

(2) 調整部会との連携

地域課題の整理や生活支援体制整備協議会に向けた議題の整理を行うための調整部会（高齢者総合相談センター主催）に参加し連携した。

開催日時	行事名(圏域)	内 容
6月1日 10時～11時	調整部会 事前打合せ	区及び取りまとめ高齢者総合相談センター職員とともに、令和4年度調整部会の方向性及び議題に関する調整を行った。
6月13日 10時～11時30分	中央圏域 調整部会	・令和4年度の調整部会について ・意見交換 「地域特有の強みや課題、地域の特色を踏まえた令和4年度の活動について」
6月14日 13時～15時	西圏域 調整部会	
6月16日 14時～16時	東圏域 調整部会	
12月13日 14時～15時	調整部会 事前打合せ	区及び取りまとめ高齢者総合相談センター職員とともに、調整部会の内容確認及び議事進行に関する調整を行った。
1月12日 15時～17時	中央圏域調整部会	・意見交換、共有 「第2層生活支援コーディネーターの活動と活動を通して得た地域課題について」
1月16日 10時～11時30分	西圏域調整部会	
1月17日 15時～16時30分	東圏域調整部会	

(3) 普及啓発講座・情報交換会

効果的な事業展開を図るため、支え合いのしくみづくりに関する講座や情報交換会等を開催した。

①普及啓発講座

開催日時	場 所	内 容	参加者
5月10日 14時～16時	社会福祉協議会 (WEB併用)	「地域共生社会を目指して、地域住民と専門職の協働による支援とは」 講師：淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎氏	81 人
7月13日 14時～16時	社会福祉協議会 (WEB併用)	「これからの通いの場運営を考える」 講師：NPO法人パノラマ 代表理事 石井 正宏氏	23 人
1月18日 14時～16時	WEB	「地域住民と専門職が連携していくために」 講師：淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎氏	30 人

②普及啓発シンポジウム

開催日時	場 所	内 容	参加者
11月26日 14時～16時	WEB	「支えあいにつながるまち新宿」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長 村山 洋史氏 トークセッション登壇者： 医療法人社団悠翔会理事長・診療部長 佐々木 淳氏 女優・介護福祉士・准看護師 北原 佐和子氏	事前申込 137 人 当日視聴者数 58 人 後日動画再生 回数 162 回

③社協他事業講座内での普及啓発

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
11月24日 14時50分～ 15時25分	社会福祉 協議会	認知症サポーターステップアップ講座 ・地域包括ケアシステムについて ・地域全体で高齢者を支えるとは ・今後、自分にできること	14 人

④情報交換会

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
5月19日 13時30分～ 15時30分	WEB	【第2層生活支援コーディネーター情報交換会】 高齢者総合相談センター10箇所に配置されている、生活支援体制整備事業第2層生活支援コーディネーターとの意見交換及び情報交換を行った。	20 人
9月28日 13時30分～ 15時30分			18 人
9月9日 17時～18時30分	WEB	簗笥町・榎町地域ケアマネジャー自主学習会において、簗笥町・榎町地区ケアマネジャーと地域住民との意見交換が行われた。	21 人※
2月7日 13時30分～ 15時30分	社会福祉 協議会	第2層生活支援コーディネーターから提供された事例をテーマに、住民と専門職が意見交換を行った。	18 人

※社協職員を含む

(4)担い手の養成に関わる講座

目 的	住民主体の支えあい活動を開始するきっかけとして、制度の隙間にあるニーズに気づき、我が事としてとらえ活動に参加するようつなげ、高齢者が地域で安心した生活を送るための地域支援体制を整備することを目的に実施した。			
内 容	回	開催日時	講 座 内 容	講 師
	1	10月6日 14時～16時	①講義： 「ケアラー＜身近な人の介護や世話をしている人＞をささえるということ」 ②グループワーク： 自分たちができることについて、グループ内で意見交換を行った。	一般社団法人 ケアラーアクションネットワーク協会 代表理事 持田 恭子氏
	2	10月6日～ 10月31日	地域共生社会と地域包括ケアについて	淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎氏
受講者 (開催方法)	1回目：18人(WEB13人、参集6人) 2回目：25回(動画視聴)			

(5) 会議や行事等への出席及び支えあいの体制整備による取り組み

地 区		内 容							地区別 合計
		1 関係づくり	2 普及啓発	3 地域課題の受け止め	4 ゆるやかな見守り体制づくり	5 支えあいのしくみの立上げ支援	6 支えあいのしくみの運営支援	7 福祉教育	
東	令和4年度	141 件	25 件	2 件	0 件	3 件	25 件	10 件	206 件
	令和3年度	230 件	4 件	6 件	0 件	10 件	10 件	4 件	264 件
中央	令和4年度	181 件	56 件	7 件	0 件	5 件	13 件	11 件	273 件
	令和3年度	253 件	15 件	19 件	0 件	15 件	24 件	4 件	330 件
西	令和4年度	128 件	22 件	3 件	0 件	5 件	21 件	10 件	189 件
	令和3年度	224 件	11 件	21 件	1 件	8 件	34 件	7 件	306 件
合計	令和4年度	450 件	103 件	12 件	0 件	13 件	59 件	31 件	668 件
	令和3年度	707 件	30 件	46 件	1 件	33 件	68 件	15 件	900 件

【関係づくり】	地域の会議出席、サロン出席、地域行事参加
【普及啓発】	生活支援に関する活動や事業の周知、事業問合せ対応
【地域課題の受け止め】	地域課題に関する地域住民(団体)からの相談受け止め、傾聴
【ゆるやかな見守り体制づくり】	「ゆるやかな見守り」普及のためのアプローチ、体制づくりの支援
【支えあいのしくみの立上げ支援】	居場所づくり立上げ支援、活動団体等立上げ支援、場の提供に関する相談
【支えあいのしくみの運営支援】	サロン等への企画助言・活動者紹介、支えあいのしくみに関わる活動者への相談支援
【福祉教育】	学校・地域団体・企業等からの相談対応及び福祉教育実施支援

2 地域活動者実践講座

目 的	地域の一人ひとりが抱える暮らしの課題について、住民主体の新たな支えあい活動によって改善・解決を目指すことのできる人材養成
内 容	地域活動を実践するまでの具体的な流れを学び、実践者の具体的な取り組み方を知ること で、参加者が地域課題に気づき、我が事としてその課題を受け止め、課題解決へ向けた活動 につながるよう、公開講座および3日間の連続講座を実施した。

内 容	開催日時	内 容	参加者数
	5月13日 18時30分～20時	公開講座「2枚目の名刺で地域に関わる」 講師:NPO法人 二枚目の名刺 代表 廣 優樹氏	11人
	6月7日 14時～16時	連続講座①「私らしい2枚目の名刺を見つける3日間」 講師:二枚目の名刺 代表 廣 優樹氏、島田 正樹氏 ・事例提供「体験談①～仕事や介護の合間に～」 地域見守り協力員事業・ちょこっと暮らしのサポート事業 協力員 古田 隆氏	11人 (動画再生 回数 延24回)
	6月30日 14時～16時	連続講座②「私らしい2枚目の名刺を見つける3日間」 ・ファシリテーション 二枚目の名刺 島田 正樹氏 ・事例提供「体験談②～超高齢化社会に向けて」 傾聴しおりの会 代表 前田 卓雄氏 ・事例提供「体験談③～街の環境づくり」 落一環境アドベンチャー 代表 栗原 明美氏	11人 (動画再生 回数 延12回)
	8月8日 14時～16時	連続講座③「私らしい2枚目の名刺を見つける3日間」 ・社協事業紹介 ・ワークショップ 講師:二枚目の名刺 代表 廣 優樹氏、島田 正樹氏	7人

3 認知症サポーターステップアップ事業（区委託事業）

(1) ステップアップ講座

目 的	在宅で生活する認知症高齢者やその家族を支援するために、必要な知識と対応スキルを習得するための講座を実施する。認知症サポーター養成講座終了後の地域活動支援講座として、チームオレンジ(※)活動への参加につなげる。
内 容	令和4年11月10日～11月24日にかけて全3回の講座（講義及びグループワーク）を実施した。 第1回 11月10日 医師による認知症の基本知識、在宅認知症高齢者の現状について 第2回 11月15日 認知症家族介護者の体験談、認知症高齢者への支援方法について 第3回 11月24日 高齢者施設職員による認知症高齢者への対応方法の実践とグループワークでの事例検討
受 講 者	18 人
場 所	社会福祉協議会

※地域で把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなど、ステップアップ研修などを受講した認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐしくみ

(2) フォローアップ講座

目 的	平成27年度～令和4年度認知症サポーターステップアップ講座(旧:認知症高齢者等支援ボランティア講座)修了者を対象に、認知症に関する一層の知識を学ぶとともに、地域の現況を知り、チームオレンジへの参加につなげる機会とする。
日 程	12月1日
内 容	「認知症の方を地域で支えるために」をテーマに、講義とグループワークを実施した。 講師:社会福祉法人サンより処ぬくみ・くるみ 管理者 東京都認知症介護指導者 澤村 陽平氏 株式会社モテギ 新宿ケアセンター主任ケアマネジャー 森岡 真也氏
受 講 者	12 人
場 所	社会福祉協議会

4 ふれあい・いきいきサロンの運営支援

(1) 相談件数等

	令和4年度	令和3年度
新規立ち上げ相談	102 件	168 件
登録サロン継続支援	319 件	448 件
支援サロン件数	77 サロン	77 サロン
いきいきサロン傷害保険加入支援	75 サロン 18,535 人	75 サロン 13,837 人

(2) 連絡会・交流会の実施

実施日	行事名	内 容	場 所	参加者
7月13日 13時～15時	ふれあい・いきいきサロン活動者向け講座 (生活支援体制整備事業と合同)	「これからの通いの場運営を考える」 講師:NPO法人パノラマ 代表理事 石井 正宏氏	社会福祉協議会 (WEB併用)	23 人
9月12日 13時～15時	オンライン情報交換会 (子育てサロン)	1 保健師・助産師からの情報提供 2 交流・情報交換 「子育てサロンの現状、運営について」	WEB	5 人
11月1日 14時～16時	通いの場・サロン情報交換会	1 サロンからの現況報告 新宿ホームタウンプロジェクト:白吉 健展氏 いきいきサロンさんぽみち:齋藤 桂子氏 ふれあいミニサロンなごみ:五島 登世子氏 2 交流会・グループワーク 「サロン運営の課題・悩みについて」	社会福祉協議会 (WEB併用)	28 人

- (3)「ふれあい・いきいきサロン活動集 子育てサロン特集」の配布
子育てサロンの普及を図り、活動への参加につなげるため、民生委員・児童委員の新生児訪問活動時に「ふれあい・いきいきサロン活動集～子育てサロン特集～」を2,208件の対象世帯へ配布した。
- (4)「サロン横のつながりグループ(メーリングリスト)」の登録状況確認
サロンへの周知方法の1つとして活用するため、令和3年度に作成したメーリングリストの登録アドレス確認を行った。
- (5)「ふれあい・いきいきサロン活動集」の改訂
令和4年度はサロン活動集の改訂はなし。令和5年度に改訂予定。

5 成年後見センター事業(重点事業)

21 ページに記載

6 地域ささえあい活動助成金

(1) 地域ささえあい活動助成

赤い羽根共同募金と歳末・地域たすけあい運動募金を活用し、地域の活動団体による支えあい・助けあい活動及び高齢者、障害者等の当事者団体による福祉活動等、地域のニーズに基づいた取り組みに対し助成している。令和4年度は、全4回(3月・6月・9月・12月)、申請のあった21事業に計2,853,000円を助成した。

☆…新規申請団体 3 団体 (前年度 7 団体)

主な分野	団 体 名		助 成 (申 請) 内 容	決 定 額	種別 番号
子ども・子育て	1	かしわぎ子ども食堂	子ども食堂	96,000 円	3
	2	ミマモcafé 西早稲田	子育て広場	40,000 円	6
	3	新宿こどもネットワーク	区内子ども食堂が連携し、安全に利用できるようにする活動	192,000 円	2
	4	特定非営利活動法人 あそびと文化のNPO 新宿子ども劇場	アートがつなぐ地域のきずな	200,000 円	2
	☆ 5	Hugmom	子育て支援団体	40,000 円	6
障 害	6	新宿区視覚障害者 福祉協会	視覚障害者のための情報媒体(CD)の 作成と発送	69,000 円	1
	7	特定非営利活動法人 クレインハウス	地域支援プログラム事業 (オンライン音楽療法)	200,000 円	1
	8	新宿区肢体不自由児 者父母の会	研修活動	89,000 円	1
	9	特定非営利活動法人 ひまわりProject Team	ひまわりHome College	200,000 円	1
	10	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	障害者と地域の人々が共に参加する運動会 及びその準備会	181,000 円	1
	11	特定非営利活動法人 新宿区レクリエーション協会	新宿区レクリエーション・フォーラム2022	200,000 円	2
	12	特定非営利活動法人 言語障害者の社会参加を支 援するパートナーの会 和音	失語症コミュニケーション支援講座	118,000 円	2
	13	特定非営利活動法人 えがおさんさん	難病、障がい、医療的ケアのある子ども達と ご家族の交流支援事業	200,000 円	1
	14	新宿区手をつなぐ親の会	一日バスレクリエーション	200,000 円	1
	15	お絵かきくらぶ ぐりーん	お絵かきくらぶ ぐりーんでの障がい児・者の 援助とボランティア交流及びクリスマス会	24,000 円	1

多 世 代 ・ 地 域 交 流	16	三世代ふれあい祭 実行委員会	三世代ふれあい祭		200,000 円	2
	☆ 17	クレインロール	クラシック音楽を楽しむ会		161,000 円	5
	☆ 18	SHINJUKU BASE	地域活動者の交流・学び合いネットワー クサロンSHINJUKU BASEの運営		18,000 円	6
	19	須賀町ふれあいサロン	町会事務所等におけるサロン活動		40,000 円	7
	20	早稲田の街スプリング コンサート実行委員会	早稲田の街スプリングコンサート2023		185,000 円	2
そ の 他	21	公益財団法人 日本キリスト教婦人 矯風会	シェルター利用の女性と子どもの支援 (音楽療法)		200,000 円	1
合 計		令和4年度	申請事業	21 事業	交付決定金額 2,853,000 円 (内、返還額) 420,000 円 (7 件)	
			交付事業	21 事業		
		令和3年度	申請事業	24 事業	交付決定金額 3,106,000 円 (内、返還額) 371,000 円 (5 件)	
			交付事業	24 事業		

助成金の種別一覧(参考)

種別 番号	助 成 種 別	交付 決定数
1	団体による当事者活動を支援する事業	9
2	団体による地域福祉の視点が盛り込まれた事業(町会を除く)	6
3	主に子どもを対象とした食事支援及び学習支援事業	1
4	団体の周年行事等、経常経費では対応できない活動 (地域福祉につながるもの) (町会を除く)	0
5	地域福祉活動団体の立ち上げ	1
6	ふれあい・いきいきサロン等の継続活動支援	3
7	町会・自治会による支えあい・助けあい活性化の視点が盛り込まれた事業	1

(2) ふれあい・いきいきサロン 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成

赤い羽根共同募金と寄附金を原資として、区内の高齢者、障害者、子育て世代、ご近所同士などの集いの場であるふれあい・いきいきサロンの活動に対し、新型コロナウイルス感染症の対応に関連する感染対策のための衛生用品費(マスク、手指消毒液等)、活動費(オンラインサロンに使用するインターネット通信料、Web会議ツール有料プラン料、会場費等)を助成している。

令和4年度は、全4回(3月・6月・9月・12月)、申請のあった21事業に計643,000円を助成した。

主な分野	サ ロ ン 名		決 定 額	サ ロ ン 名		決 定 額
子 育 て	1	一般社団法人 ブルーミングママ	22,000 円	4	Hugmom	15,000 円
	2	ミマモcafé 西早稲田	15,000 円	5	子育てサロン・リバーサイド 中井	58,000 円
	3	0っこひろば	57,000 円			
高 齢 者	6	えみの会	15,000 円	10	グランパの会	41,000 円
	7	えんがわ落合	15,000 円	11	スイトピー	15,000 円
	8	「私の思い出ノート」づくりの会	44,000 円	12	特定非営利活動法人 テラ・ガーデン新宿	15,000 円
	9	にこにこサロン	61,000 円	13	高齢者の暮らしを考える会 あなたの手「おしゃべり会」	15,000 円
地 域 交 流	14	気まぐれカフェ「フラット」	23,000 円	18	須賀町ふれあいサロン	15,000 円
	15	新宿美容CLUBリボン	15,000 円	19	SHINJUKU BASE	59,000 円
	16	器あうん	15,000 円	20	ぬくもりサロン	15,000 円
	17	落合中井社会人大学院	54,000 円	21	みんなのリビング葛が谷	59,000 円
合 計			令和4年度	申請事業	21 件	交付決定金額 643,000 円 (内、返還額) 49,000 円
				交付事業	21 件	
			令和3年度	申請事業	27 件	交付決定金額 576,000 円 (内、返還額) 35,000 円
				交付事業	27 件	

(3)備品整備・施設整備助成

株式会社日本財託(新宿区西新宿)から寄附5,000,000円を受け、平成22年から区内福祉施設等の備品整備・施設整備のために助成している(事務費50,000円を除く)。
令和4年度は、申請22事業に計4,799,000円を助成した。

	団 体 名		助 成 内 容		決 定 額
備 品 整 備	1	特定非営利活動法人TOMO	ノートパソコン×2台の購入		200,000 円
	2	若年性認知症家族会・彩星の会	ノートパソコンの購入		144,000 円
	3	特定非営利活動法人 若年認知症サポートセンター	ノートパソコン、データ保存用SSD、 ウイルス対策ソフト 各1の購入		199,000 円
	☆ 4	特定非営利活動法人 維新隊ユネスコクラブ	パソコン(Mac)の購入		200,000 円
	5	多世代交流ラボ にこりハハ	複合機(プリンター・ファックス)の購入		102,000 円
	6	特定非営利活動法人 10代・20代の 妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー	除湿器、空気清浄機 各1の購入		54,000 円
	☆ 7	特定非営利活動法人 ひまわりProject Team	ノートパソコンの購入		117,000 円
	8	新宿区手をつなぐ親の会	パソコン、プリンター、スピーカー、 ウイルス対策ソフト 各1台の購入		177,000 円
	9	新宿HAHAha倶楽部	空気清浄機エアドッグX3sの購入		104,000 円
	10	社会福祉法人南風会 シャロームみなみ風	サーキュレーター×10台 空気清浄機×3台の購入		171,000 円
	11	特定非営利活動法人 ぶれいす東京	キャスター付きテーブル×5台 ミーティングチェア×4脚の購入		179,000 円
	☆ 12	一般社団法人みらいの	学習支援用テーブルセット×2セットの 購入		79,000 円
	☆ 13	社会福祉法人日本点字図書館	電動自転車、ロビー用椅子 各1の購入		161,000 円
	14	社会福祉法人若草福祉会 大久保わかくさ子ども園	キューブ型積み木×5セットの購入		200,000 円
	15	特定非営利活動法人 シニア演劇ネットワーク	視覚障害者向け音声ガイドの送受信機 一式の購入		200,000 円
	16	みんなの支援介護倶楽部	麻雀卓・麻雀牌×4セットの購入		63,000 円
	17	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	ソーラーパネル付き蓄電池×2台の 購入		200,000 円
	18	特定非営利活動法人 えがおさんさん	ジョイントマット大判サイズ×2セットの 購入		32,000 円
施 設 整 備	19	特定非営利活動法人 クレインハウス	UTM導入によるネット環境のセキュリティ 向上工事		660,000 円
	20	社会福祉法人サン	壁・天井クロス交換工事		700,000 円
	21	社会福祉法人慈愛会	エアコン入替工事		700,000 円
	22	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	防犯カメラ増設工事		157,000 円
合 計			令和 4年度	申請事業 22 事業 (内、新規申請 4 事業)	交付額 4,799,000 円 内、減額交付 2 事業 (内、返還額) 46,000 円
				交付事業 22 事業 (内、新規申請 4 事業)	
				非交付事業 0 事業 (内、新規申請 0 事業)	
			令和 3年度	申請事業 21 事業 (内、新規申請 9 事業)	交付額 4,954,000 円 内、減額交付 7 事業 (内、返還額) 33,000 円
				交付事業 19 事業 (内、新規申請 8 事業)	
				非交付事業 2 事業 (内、新規申請 1 事業)	

3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

1 暮らしの総合相談事業（重点事業）

(1) 暮らしの総合相談

①小地域活動支援（ボランティア・市民活動センター・東分室・ボランティアコーナーの運営）

(ア) 新規相談件数

拠 点	令和4年度	令和3年度
ボランティア・市民活動センター（高田馬場事務所）	延 997 件	延 1,179 件
ボランティア・市民活動センター（東分室）	延 335 件	延 266 件
新宿社協ボランティアコーナー	延 432 件	延 429 件
箕筒町ボランティアコーナー	延 54 件	延 40 件
若松町ボランティアコーナー	延 72 件	延 58 件
大久保ボランティアコーナー	延 54 件	延 46 件
落合第一ボランティアコーナー	延 79 件	延 52 件
落合第二ボランティアコーナー	延 94 件	延 140 件
柏木ボランティアコーナー	延 79 件	延 93 件
合 計	延 1,764 件	延 1,874 件

(イ) ボランティアコーナー受付・問合せ件数

拠 点	内 容					
	総合相談				情報交換	
	ボランティア相談		一般相談			
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
簗笥町ボランティアコーナー	79 件	92 件	52 件	56 件	1,317 件	1,230 件
若松町ボランティアコーナー	87 件	52 件	64 件	29 件	1,233 件	1,477 件
大久保ボランティアコーナー	50 件	54 件	42 件	37 件	1,598 件	1,251 件
落合第一ボランティアコーナー	49 件	52 件	15 件	11 件	1,225 件	1,133 件
落合第二ボランティアコーナー	93 件	119 件	74 件	51 件	1,801 件	1,773 件
柏木ボランティアコーナー	60 件	78 件	66 件	41 件	1,588 件	1,373 件
合 計	418 件	447 件	313 件	225 件	8,762 件	8,237 件

※ ボランティア相談はボランティア活動希望及び利用希望の総数

(ウ) ボランティア保険の加入手続き件数

	令和4年度	令和3年度
ボランティア保険加入者 （うち天災プラン加入者）	5,945 人 （ 413 人）	4,517 人 （ 253 人）
行事保険加入件数	234 件	107 件
行事保険（当日参加対応型）加入件数	129 件	106 件

※行事保険（当日参加対応型）は、平成29年12月より開始

(エ) 使用済み切手の収集・整理

	令和4年度	令和3年度	送付先	用 途
収集・整理数 （換金相当額）	52.5 kg （約 94,500 円）	70.8 kg （約 135,340 円）	公益社団法人 日本キリスト教 海外医療協力会	発展途上国における出生時に 必要な医薬器具・薬品購入経 費等

(オ) 食事用エプロン（一組2枚）の無料配布

本会が寄附を受けたタオル（新品）を活用し、ボランティアが作製したエプロンを各拠点で配布した。

配布先	令和4年度	令和3年度
個 人	20 組	12 組
施設・団体	24 組	133 組

(2) 車椅子・地域行事用機材の貸出

①保有台数

種 別	令和4年度	令和3年度
自走型(大型1含む)	73 台	84 台
介助型	89 台	93 台
子ども用	2 台	2 台
合 計	164 台	179 台

②寄附を受けた車椅子と無償譲渡した車椅子

	令和4年度	令和3年度
寄 附	22 台	27 台
譲 渡	9 台	15 台

※ 貸出期間5年を経過した車椅子について、点検のうえ町会・自治会、福祉施設等に無償譲渡している。

③貸出拠点と貸出実績

(ア)社会福祉協議会延べ取扱件数・・・短期貸出(2週間程度)及び長期貸出(4か月)

貸 出 拠 点	新 規		更 新	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
ボランティア・市民活動センター(高田馬場事務所)	195 件	177 件	48 件	49 件
ボランティア・市民活動センター(東分室)	60 件	63 件	15 件	18 件
簗笥町ボランティアコーナー	31 件	19 件	1 件	3 件
若松町ボランティアコーナー	38 件	79 件	0 件	11 件
大久保ボランティアコーナー	72 件	89 件	11 件	9 件
落合第一ボランティアコーナー	34 件	35 件	5 件	6 件
落合第二ボランティアコーナー	71 件	81 件	9 件	11 件
柏木ボランティアコーナー	32 件	21 件	5 件	0 件
合 計	533 件	564 件	94 件	107 件

(イ)特別出張所延べ取扱台数・・・短期貸出(2週間程度)のみ

特別出張所名	令和4年度	令和3年度	特別出張所名	令和4年度	令和3年度
四谷特別出張所	54 台	64 台	戸塚特別出張所	14 台	13 台
簗笥町特別出張所	65 台	55 台	落合第一特別出張所	23 台	24 台
榎町特別出張所	80 台	91 台	落合第二特別出張所	41 台	40 台
若松町特別出張所	40 台	51 台	柏木特別出張所	37 台	41 台
大久保特別出張所	81 台	75 台	角筈特別出張所	33 台	30 台
			合 計	468 台	484 台

④地域行事用機材の貸出

機 材 名	貸出件数		機 材 名	貸出件数	
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
綿菓子機	4 件	2 件	テント(中)	2 件	0 件
ポップコーン機	1 件	1 件	鉄板焼機	1 件	0 件
白と杵(セット)	1 件	2 件	輪投げセット	5 件	4 件
発電機	0 件	0 件	ゲーゴルゲーム	8 件	1 件
テント(大)	1 件	0 件	ポッチャ	20 件	30 件
			合 計	43 件	40 件

※令和3年度はポッチャを追加した。

⑤福祉教育・体験学習用機材の保有台数・貸出数

(ア)高齢者疑似体験セットの貸出内訳

学校・団体等	高齢者疑似体験セット(大人) 【保有10セット】				高齢者疑似体験セット(キッズ) 【保有10セット】			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数
小学校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	4 件	40 セット	2 件	20 セット
中学校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
高 校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
大 学	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
専門学校	2 件	20 セット	2 件	15 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
企 業	0 件	0 セット	1 件	2 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
団 体	1 件	2 セット	2 件	16 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
合 計	3 件	22 セット	5 件	33 セット	4 件	40 セット	2 件	20 セット

(イ) 体験用車椅子の貸出内訳

学校・ 団体等	体験用車椅子(自走式) 【保有台数30台】				スポーツ競技用車椅子 【保有台数13台】			
	令和4年度		令和3年度		令和4年度		令和3年度	
	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数
小学校	9 件	120 台	5 件	58 台	0 件	0 台	0 件	0 台
中学校	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
高 校	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
大 学	1 件	8 台	2 件	7 台	0 件	0 台	0 件	0 台
専門学校	1 件	11 台	4 件	24 台	0 件	0 台	0 件	0 台
企 業	1 件	1 台	1 件	1 台	1 件	13 台	3 件	19 台
団 体	5 件	12 台	2 件	5 台	4 件	38 台	4 件	33 台
合 計	17 件	152 台	14 件	95 台	5 件	51 台	7 件	52 台

2 自立相談支援・貸付事業(重点事業)

社会的孤立、経済的困難、単身高齢世帯の増加、8050問題などを背景とした、従来の支援体制では対応の難しい複雑化・複合化した課題に対応するため、区や関係機関、社協各事業間の調整を図り、総合的な相談支援を行った。
令和2年3月25日に開始した「新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付」について、引き続き相談対応を行った。

(1) 総合相談件数

① 新規相談件数

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
5,060 件	6,287 件	13,087 件	1,009 件	658 件

(ア) 男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和4年度	3,085 人	1,973 人	2 人	5,060 人
令和3年度	4,173 人	2,111 人	3 人	6,287 人

(イ) 年代別内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合 計
令和4年度	14 人	629 人	1,417 人	1,177 人	1,007 人	471 人	264 人	71 人	10 人	5,060 人
令和3年度	10 人	657 人	1,966 人	1,463 人	1,300 人	538 人	285 人	59 人	9 人	6,287 人

② 継続相談件数 ※借入世帯、各事業登録者への対応

継続相談件数内訳	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
継続相談件数(延べ数)	2,432 件	2,676 件	2,905 件	4,946 件	2,913 件

(ア) 継続相談件数 内容内訳

	教育 支援 資金	福祉 資金 (福祉費)	緊急小 口資金	総合支 援資金	不動産 担保型 生活福 祉資金	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	VC 事業等	合 計
令和 4年度	706 件	50 件	69 件	133 件	76 件	966 件	83 件	73 件	276 件	2,432 件
令和 3年度	859 件	108 件	64 件	226 件	20 件	927 件	161 件	266 件	45 件	2,676 件

③ 事業利用決定件数

	教育 支援 資金	福祉資金 (福祉費)	緊急 小口 資金	総合 支援 資金	不動産担 保型生活 福祉資金 (要保護世 帯向け含)	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	合 計
令和 4年度	16 件	0 件	3 件	0 件	1 件	188 件	5 件	4 件	217 件
令和 3年度	10 件	1 件	2 件	0 件	0 件	112 件	14 件	6 件	145 件

(2) 自立相談支援事業〔区委託事業〕

	令和4年度	令和3年度
新規相談件数	120 件	56 件
利用申込件数	4 件	6 件
プランによる支援申込件数	0 件	1 件
支援調整会議開催回数	2 回	3 回
支援調整会議における取扱いケース数	2 件	6 件

(3) 生活福祉資金貸付事業〔東社協委託事業〕

① 生活福祉資金貸付事業

種 別 ()は人数	令和4年度		令和3年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
教育支援資金	16(10) 件	13,462,500 円	10 (7) 件	10,004,000 円
福祉資金・福祉費	0 (0) 件	0 円	1 (1) 件	3,696,000 円
福祉資金・緊急小口資金	3 件	196,000 円	2 件	173,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
総合支援資金	0 (0) 件	0 円	0 (0) 件	0 円
うち住宅入居費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち一時生活再建費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち生活支援費	0 件	0 円	0 件	0 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1 件	9,730,000 円	0 件	0 円
合 計 ()は人数	19 (13) 件	23,388,500 円	13 (10) 件	13,873,000 円

(ア) 不動産担保型生活資金内訳

令和4年度貸付状況		令和3年度貸付状況	
累計貸付者数	2 人	累計貸付者数	2 人
累計貸付決定額	42,070,000 円	累計貸付決定額	42,070,000 円

(イ) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金内訳

令和4年度貸付状況		令和3年度貸付状況	
累計貸付者数	5 人	累計貸付者数	4 人
(貸付限度額到達者 1 人含む)		(貸付限度額到達者 1 人含む)	
累計貸付決定額	39,180,000 円	累計貸付決定額	29,450,000 円

② 債権件数(東社協発行償還状況一覧表に基づく管理債権件数)

		令和4年度	令和3年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)		425 件	426 件
総合支援資金	本則	443 件	461 件
	特例貸付	18,897 件	17,481 件
生活復興支援資金		2 件	2 件
不動産担保型生活資金		2 件	2 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		5 件	3 件
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)		63 件	66 件
合 計		19,837 件	18,441 件

③ 生活福祉資金償還率

	令和4年度		令和3年度	
	当年度	過年度	当年度	過年度
教育支援資金・福祉資金 (福祉費・緊急小口資金)	60.54 %	14.86 %	64.07 %	16.27 %
教育支援資金	59.40 %	14.72 %	—	—
緊急小口資金	100.00 %	0.00 %		
福祉資金	78.71 %	23.17 %		
総合支援資金	31.89 %	2.58 %	29.73 %	2.72 %
合 計	53.07 %	7.29 %	54.86 %	7.37 %

(4) 受験生チャレンジ支援貸付事業〔区委託事業〕

令和4年度からの申請対象要件緩和を受け、職員を増員して相談件数増に対応した。

種 類	令和4年度		令和3年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
中3学習塾	62 件	12,066,300 円	35 件	6,887,800 円
中3受験料	61 件	1,358,000 円	35 件	787,000 円
高3学習塾	27 件	5,207,000 円	20 件	3,912,900 円
高3受験料	38 件	2,766,000 円	22 件	1,479,800 円
合 計 ()は世帯数	188 件 (94 世帯)	21,397,300 円	112 件 (59 世帯)	13,067,500 円

(5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業〔東社協委託事業〕

※東京都及び都内区市が実施する母子及び父子並びに寡婦福祉法による
母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金の受給者等が対象となる事業。

	令和4年度	令和3年度
相談者数	1 人	0 人
決定件数(人数)	1 件(1 人)	0 件(0 人)
貸付不可者数	0 人	0 人

(6) 応急小口資金貸付事業

		令和4年度	令和3年度
当年度	貸付決定件数	5 件	14 件
	貸付決定金額	319,000 円	850,500 円
	償還件数	93 件	97 件
	償還調定額	642,225 円	567,375 円
	償還金額	485,925 円	500,700 円
	未償還額	156,300 円	66,675 円
	償還率	77.66 %	88.25 %
過年度	償還件数	7 件	9 件
	償還調定額	3,054,369 円	2,983,420 円
	償還金額	48,125 円	41,800 円
	償還率	1.58 %	1.4 %
	延滞利子収入	0 円	0 円
債 権 件 数		55 件	60 件

(7) 緊急援護事業

	令和4年度	令和3年度
支給・貸付件数	1,922 件	1,965 件
返済件数	979 件	899 件
支給・貸付金額	4,097,557 円	4,155,794 円

(8) 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付〔東社協委託事業〕

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯に向けた、緊急小口資金・総合支援資金(生活支援費)の特例貸付を行った。

(受付期間 令和2年3月25日～令和4年9月30日)

	問合せ 対応件数	相談来所	申請件数			申請件数※		合計
			緊急小口 資金	総合支援 資金	小計	総合支援 (延長)	総合支援 (再貸付)	
令和 4年度 (R4.4.1～ R4.9.30)	2,338 件	1,033 件	805 件	740 件	1,545 件			1,545 件
令和 3年度	5,872 件	5,426 件	3,282 件	3,184 件	6,466 件	1,007 件	3,812 件	11,285 件
R2.3.25～ R4.9.30 累計	21,250 件	23,709 件	14,468 件	11,901 件	26,369 件	4,860 件	7,291 件	38,520 件

※総合支援(延長)は、令和3年6月30日をもって申請受付終了
総合支援(再貸付)は、令和3年12月31日をもって申請受付終了

①特例貸付借受人アンケート調査の実施

特例貸付借受人の生活状況の把握及び、貸付終了後も生活課題を抱える世帯に対して相談支援を行うことを目的にアンケート調査を実施した。

実施月	調査件数	回答件数	回答者への 相談対応件数
4・6・8月	14,173 件	2,836 件	640 件

3 成年後見センター事業（重点事業）

(1) 成年後見制度利用推進事業〔区委託事業〕

①成年後見・権利擁護相談窓口の設置

(ア) 体制

一般相談	月～金曜日の午前8時30分～午後5時
専門相談	毎週月・水・金曜日の午後1時～4時 月曜日 司法書士(公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部) 水曜日 弁護士(東京弁護士会) 金曜日 社会福祉士 (公益社団法人東京社会福祉士会権利擁護センター「ぱあとなあ東京」)
訪問専門相談	司法書士、社会福祉士及び弁護士による訪問相談
推進機関支援弁護士	東京弁護士会弁護士による法的支援

(イ) 実績

・新規相談者数

令和4年度	210 人
令和3年度	223 人

・相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数						
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問 (司・社・弁)
令和4年度	2,645 人	2,521 人	124 人	38 人	47 人	36 人	3 人
令和3年度	1,813 人	1,671 人	142 人	41 人	63 人	33 人	5 人

※一般相談(職員による相談)の合計:問合せ・相談累計件数を含む。

・相談内容

内 容	件 数		内 容	件 数	
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
法定後見	1,277 件	1,048 件	金銭管理	514 件	380 件
法定後見(親族後見)	308 件	156 件	財産保護	35 件	27 件
任意後見	153 件	174 件	生活	842 件	627 件
法定後見(法人)	21 件	22 件	虐待	14 件	6 件
任意後見(法人)	56 件	51 件	苦情	5 件	4 件
相続	36 件	64 件	その他	509 件	447 件
遺言	55 件	27 件	合 計	3,825 件	3,033 件

※相談内容は複数カウント

・相談対応結果

対応・結果	件 数		対応・結果	件 数	
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
制度説明	220 件	204 件	機関支援専門家	2 件	2 件
書類配付	57 件	48 件	金銭管理	65 件	48 件
申立書作成支援	45 件	29 件	財産保護	11 件	0 件
第三者紹介	69 件	25 件	生活支援	140 件	142 件
法人後見	4 件	3 件	助言	514 件	414 件
家裁同行	2 件	0 件	情報提供	1,812 件	1,399 件
申立・報酬助成案内	2 件	5 件	苦情対応・解決	1 件	1 件
専門相談員	256 件	275 件	その他	544 件	605 件
※相談対応は複数カウント			合 計	3,744 件	3,200 件

②広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(制度・相談窓口・成年後見センター・講演会等案内)

- ・広報新宿 17 回掲載
- ・新宿社協だより「けやき」 4 回掲載
- ・パンフレット「成年後見制度とは」 適宜配布
- ・チラシ「成年後見制度のご案内」 適宜配布
- ・成年後見センターだより 第 20 号 3,600 部発行
- 第 21 号 3,600 部発行
- ・チラシ「成年後見センター 専門相談のご案内」 適宜配布

(イ) 普及活動

- ・講演会・出前講座等の実施 15 回 226 人参加
- ・その他普及啓発活動(町会、民児協等) 延 55 回

③後見人等養成・活動支援

(ア) 新宿区登録後見活動メンバー(社会貢献型後見人)支援・養成

	令和4年度	令和3年度
登録者数	77 人	76 人
連絡会・研修会 開催回数	6 回	6 回
成年後見人等 受任件数	13 件 (補助 0 保佐 4 後見 9)	14 件 (補助 0 保佐 4 後見 10)
後見監督等受任件数	15 件	14 件
成年後見人等 年度受任件数	H22 3件、H23 1件、H24 3件、H25 5件、H27 3件、H28 5件、H29 3件、 H30 2件、R1 4件、R2 5件、R3 2件、R4 1件(受任13件、終了24件)	
後見監督業務件数等	15 件 413 回	18 件 373 回

(後見監督業務は終了した2件も含む)

(イ) 後見人等支援

	令和4年度	令和3年度
相 談	随時対応	随時対応
後見人交流会(Café)	2 回 21 人	2 回 15 人
個別支援	延 43 人 809 回 (後見監督15件、監督業務実施回数含む)	延 70 人 1,245 回 (後見監督18件、監督業務実施回数含む)

(ウ) 市民後見人養成基礎講習

受講者	令和4年度				令和3年度			
	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者
全体	27 人	16 人	14 人	6 人	21 人	33 人	14 人	9 人
男性			4 人	2 人		16 人	6 人	4 人
女性			10 人	4 人		17 人	8 人	5 人

※養成基礎講習説明会(新宿区実施)

- ・養成基礎講習
講習期間 令和4年10月26日～11月30日
講習時間 6日間(24時間)

- ・登録後見活動メンバー登録選考
選考日 令和4年12月16日
選考内容 筆記及び個人面接
選考合格者 6人(男性2人、女性4人)

(エ)親族後見支援

	令和4年度	令和3年度
支援対象実人数	67 人	23 人
延べ支援回数	446 回	201 回
成年後見利用検討・支援会議の開催回数	6 回	4 回

検討・支援会議委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

④地域の社会資源との連携・協力による支援活動(専門家・福祉関係者等の関係強化・連携)

	令和4年度	令和3年度
連絡会議等(民生児童委員協議会ほか)	12 回	4 回
意見交換等(弁護士会等専門職団体ほか)	18 回	13 回
事業協力(セミナー講師派遣、講座開催支援、視察受入等)	5 回	0 回

⑤成年後見推進機関の運営

運営委員会の開催	令和4年度	令和3年度
	3 回	3 回

運営委員・・・・・・ 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、民生委員、社協理事、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、福祉団体職員、行政職員 計13人

オブザーバー・・・ 金融機関 計2人

専門委員会の開催	令和4年度		令和3年度	
	0 回	令和4年度は未設置	0 回	令和3年度は未設置

⑥行政等との連携

(ア)新宿区との連携、福祉部との打合せ会等 4 回

(イ)東京都、東社協との連携、利用者支援区市町村連絡会会議等 6 回

(2)法人後見事業〔区補助事業〕

- ① 相談支援
- (ア)新規相談者数

令和4年度	8 人	令和3年度	5 人
-------	-----	-------	-----

(イ)相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数						
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問(司・社・弁)
令和4年度	244 人	241 人	3 人	0 人	1 人	0 人	2 人
令和3年度	251 人	249 人	2 人	0 人	1 人	1 人	0 人

②受任状況

(ア)法人後見受任検討委員会の開催

委員会の開催	令和4年度	令和3年度
	4 回	4 回

受任検討委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

(イ)受任概況

	法定後見		任意後見	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
後見人等候補承諾状況	1 件	2 件	1 件	0 件
後見人等受任状況	8 件 (後見 6 件) (保佐 2 件)	7 件 (後見 6 件) (保佐 1 件)	8 件	8 件
終了件数	0 件	1 件	0 件	1 件
後見等監督人受任状況	13 件	14 件	(後見監督人受任状況は再掲)	

(ウ)活動状況

	法定後見		任意後見	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
後見人等活動状況	1,499 件	1,262 件	470 件	439 件
後見等監督人活動状況	15 件	15 件	(後見監督人活動状況は、終了した2件も含む)(再掲)	

③ 広報・普及宣伝

(ア)広報活動(事業等案内)

・広報新宿	2 回掲載
・新宿社協だより「けやき」	1 回掲載
・ぬくもりだより	0 回掲載
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布
・チラシ「新宿区社会福祉協議会が法人として成年後見人等になります」	適宜配布

(イ)普及活動

・講演会・出前講座等の実施	1 回	26 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 0 回	

(ウ)任意後見事業説明会の開催

2 回 49 人参加

(3)地域福祉権利擁護事業〔東社協委託事業〕

①事業実績

(件)

内 容	認 知 症	知的障害	精神障害	その他 ※1	合 計		
					令和4年度	令和3年度	
問合せ件数 (制度・事業等)	24	5	5	33	67	52	
初回相談件数	107	9	14	14	144	105	
新規契約件数 ()は生活保護受給者数	27 (19)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	31 (23)	27 (18)	
解約件数 ()は生活保護受給者数	22 (12)	0 (0)	4 (3)	0 (0)	26 (15)	27 (14)	
年度末の契約件数 ()は生活保護受給者数	80 (55)	8 (6)	21 (17)	4 (3)	113 (81)	108 (70)	
うち通帳・ 印鑑預かり	25 (24)	4 (3)	12 (10)	3 (2)	44 (39)	42 (34)	
	うち書類等 預かり	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
延契約件数 ()は生活保護受給者数	102 (67)	8 (6)	25 (20)	4 (3)	139 (96)	135 (84)	
専門員延相談援助件数	4,713 (1,574)	606 (152)	410 (45)	180 (12)	5,909 (1,783)	4,727 (1,351)	
()は 訪問や 会議等 の回数	契約者	1,743 (696)	100 (13)	212 (26)	76 (9)	2,131 (744)	1,912 (671)
	契約外(契約前・ 解約後等)	2,970 (878)	506 (139)	198 (19)	104 (3)	3,778 (1,039)	2,815 (680)
生活支援員 ※2 延援助件数(契約者)	724	101	303	62	1,190	1,099	

※1 高次脳機能障害、病気等

※2 生活支援員数 78名

②解約理由 (件)

死亡	施設入所・長期入院	判断能力低下	本人自立	他地区へ転居	その他
9	8	5	1	2	1

③成年後見制度の申立支援・連携及び活用実績 (件)

対 象 者	令和4年度	令和3年度
地域福祉権利擁護事業契約者	1	9
上記以外の相談者	33	31

・契約者外預かり

申立前、地域福祉権利擁護事業(地権)契約前の保全等 (件)

	保管件数	延べ件数	内 訳	
令和4年度	19	23	申立前 19	地権契約前 4
令和3年度	22	27	申立前 22	地権契約前 5

④その他

- ・地域福祉権利擁護事業 事業説明会の開催 2 回
- ・生活支援員連絡会の開催 2 回
- ・東社協等が主催する外部の専門員、生活支援員研修会に参加 4 回

4 避難者支援

(1)さんさん広場の運営支援

開催日時	場 所	内 容	開催状況	
			令和4年度	令和3年度
原則 毎月第2 土曜日 午後1時 ～4時	都営百人 町四丁目 アパート 14号棟 集会室	学生ボランティアによるネットワーク「joy study project (※)」が主体となって、主に子どもの学習と遊びの支援、家族交流の場「さんさん広場」を平成24年2月から周辺住民や支援団体と協力して開催した。 平成28年4月から学生団体と自治会の自主運営でサロンを数回開催し、令和元年度に地域の自主活動となった。 今後も地域活動(サロン)支援を継続していく。	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催。秋祭りのみ開催した。	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催

※ joy study project…

大学生のボランティアネットワークによる、区内に居住する東北からの避難者のサポートを目的とした支援活動である。

百人町周辺の既存住民との関係づくりをはじめ、地域の活性化に活動の重点を置き、地元住民や町会、支援団体や企業と連携した活動を展開している。

(2)情報紙「交流サロン通信」の発行及び配布

目 的	避難者向け情報紙を発行し、区所管課とともに戸別訪問配布により転居先などに関する情報、避難者に必要な情報などを届ける
内 容	・情報紙発行回数 : 12 回 ・配布戸数 : 延 84 戸

4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現

ボランティア・市民活動コーディネート事業

	令和4年度	令和3年度
活動登録者数 *	1,641 人	1,559 人
活動団体数	152 団体	146 団体
新規ボランティア活動希望者数 (内訳①②)	182 人	170 人

* ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員、地域見守り協力員、施設でのボランティア活動者

①男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和4年度	56 人	126 人	0 人	182 人
令和3年度	58 人	112 人	0 人	170 人

②年代別内訳

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不 明	合 計
令和4年度	0 人	38 人	20 人	19 人	17 人	35 人	24 人	28 人	1 人	182 人
令和3年度	0 人	25 人	22 人	25 人	31 人	26 人	22 人	16 人	3 人	170 人

1 ちょこっと・暮らしのサポート事業

(1) 登録者数

	令和4年度	令和3年度
利用者	1,497 人	1,356 人
協力者	531 人	499 人
協力団体	10 団体	10 団体
延べ活動回数	延 2,143 回	延 1,327 回
新規マッチング数	428 回	432 回

主な活動内容		(主として継続活動)			
		掃除	買い物	食事づくり	外出付添い
令和4年度	有償 活動数	440 件	190 件	9 件	323 件
	無償 活動数	94 件	31 件	0 件	39 件
令和3年度	有償 活動数	316 件	137 件	35 件	245 件
	無償 活動数	37 件	32 件	19 件	39 件

(単発活動)	
軽作業等 ※無償	その他活動 ※有償含む
167 件	159 件
190 件	173 件

(2) 普及啓発講座の実施

コミュニケーション能力を高め、活動を円滑に行うことを目的とし講座を開催した。また、新たな担い手の発掘のため、講話終了後にボランティア情報の提供を行い、ボランティアを始めるきっかけとした。

開催日	講座名	講 師	参加者数
8月19日 (WEB併用)	『傾聴入門講座』 ～温かな聴き手を目指して～	アクティヴリッスン 代表 澤村 直樹氏 (心理カウンセラー)	64 人 (内訳)WEB 45人 来所19人

生活支援体制整備事業と合同で、制度の隙間にあるニーズに気づき、理解を深め、住民主体の支えあい活動を開始するきっかけとした。(P9参照)

実施日時	行 事 名	内 容	場 所	参加者
10月6日 14時～16時	担い手養成講座 地域共生社会を目指して、気づきからつながる地域へ	身近な人の介護や世話をしている方が抱える課題やその現状について学び、困りごとの解決に向けて、どのような支援ができるかを考える。 地域共生社会と地域包括ケアについて解説した動画の視聴。	社会福祉協議会 (WEB併用) および動画視聴	19 人

(3) ボランティア交流会の開催

社協登録協力員等の地域活動者及び地域活動に興味関心のある参加者を対象に、交流会を開催した。交流を通じて、参加者同士が知り合い、互いの活動を知ることで、地域での支えあい活動の理解を深めた。

目的	「断捨離」の知識を活かして時間を有効活用し、ゆとりの時間をボランティア活動に活用することを提案した。「断捨離」のメソッドは、家の片付けだけではなく、作業の効率化、スペースの有効活用等、ワークライフバランスを実現する上でも役立つスキルであるため、誰もが心地よい空間でゆとりのある豊かな暮らしを目指すことを提案した。			
実施日時	内 容		場 所	参加者
3月2日 13時30分～ 15時30分	第一部 講演 毎日を自分らしくいきいきと生きるために 「今日からはじめる断捨離」 講師 小林 理恵氏 やましたひでこ公認断捨離®チーフトレーナー 第二部 交流会 地区ごとに活動者同士の懇談会		戸塚地域センター 多目的ホール	52 人

2 地域見守り協力員事業（区委託事業）

(1) 実施状況

地域見守り協力員事業	令和4年度	令和3年度
利用者数	539 人	564 人
協力員数	439 人	420 人
延べ訪問回数	延 13,240 回	延 12,478 回
電話対応回数	延 0 回	延 1,669 回

(2) 新規登録者数

	令和4年度	令和3年度
利 用 者	106 人	110 人
活 動 者	76 人	90 人

(3) 地域見守り協力員・各地区連絡会・全体会の開催

各地区地域見守り協力員連絡会

地 区	実施日	場 所	内 容	参加者
東	四谷 榎町 簗笥町	6月23日	・高齢者総合相談センターの職員による事例検討 テーマ①「認知症の方の変化について」 テーマ②「緊急時の対応について」 ・意見交換	26 人
中央	若松町 大久保 戸塚	6月15日	社会福祉協議会（WEB併用） ・新宿警察署ふれあいポリスによる講話 テーマ「最近の特殊詐欺について」 ・意見交換	25 人
西	落合第一・ 落合第二	6月13日	・ケアマネジャーによる講話 テーマ「住民と専門職の連携によるゆるやかな見守り」 ・意見交換	24 人
	柏木・ 角筈	6月2日	北新宿第二地域交流館、西新宿シニア活動館（WEB併用） ・作業療法士による講話と体操 テーマ「介護予防」 ・意見交換	22 人
東	四谷	10月5日	四谷保健センター ・事業説明 ・四谷保健センターによるフラストレッチ	15 人
	簗笥町	10月20日	牛込簗笥地域センター ・事業説明 ・ボランティアによるミュージックライブ・交流会	39 人
	榎町	10月25日	榎町地域センター ・事業説明 ・ボランティアによる手回しオルゴール作り（オルガニート）	10 人
中央	若松町	10月31日	若松地域センター ・事業説明 ・理学療法士による体操 ・管理栄養士及び薬剤師による食事と物忘れチェック	19 人
	大久保	10月24日	大久保地域センター ・事業説明 ・地域の企業による講話『塩屋の減塩教室』	17 人
	戸塚	10月12日	社会福祉協議会 ・事業説明 ・ボランティアによる自分史ノート作成体験会	7 人

地 区		実施日	場 所	内 容	参加者
西	落合第一	10月28日	落合第一 地域センター	・事業説明 ・落一高相によるフレイル予防の講話・講師によるセラピューティック・ケア体験	16 人
	落合第二	10月26日	落合第二 地域センター	・事業説明 ・ボランティアによるフラダンスおよび落語の披露・やさしいヨガ体験・交流会	16 人
	柏木	10月18日	北新宿 地域交流館	・事業説明 ・グループワーク(活動場所地図作り)	14 人
	角筈				
全体会		3月6日	四谷 地域センター	・講話:「コロナ禍における高齢者への見守りや地域交流」 ・講師:高崎健康福祉大学 岡田 哲郎氏	41 人

(4) 関係機関・協力機関との連携

高齢者総合相談センター等関係機関との連携のため、各地区の「高齢者見守り支えあい連絡会」に出席した。

連携機関名	実施日	内 容
四谷 高齢者総合相談センター	10月20日	・左門町薬局より、コロナ禍での見守りのポイントや工夫についての講話 ・グループワーク
簗筈町 高齢者総合相談センター	2月24日	・地域の関係者や関係機関との情報共有、及び高相の周知方法についての意見交換 ・質疑応答
榎町 高齢者総合相談センター	11月22日	・見守りに関する事例を通じて、日頃の見守り活動についての意見交換
若松町 高齢者総合相談センター	2月1日	・健康部健康づくり課からのお知らせ ・牛込警察署生活安全課防犯係からのお知らせ ・自治会から現状報告
大久保 高齢者総合相談センター	12月15日	・各事業所から見守り活動についての報告 ・グループワーク (日ごろから気を付けていること、困ったケース)
戸塚 高齢者総合相談センター	1月27日	・新宿区消費生活センターによる高齢者を狙う悪質商法についての講話 ・グループワーク(詐欺被害事例検討)
落合第一 高齢者総合相談センター	9月13日	・高齢者総合相談センター所長による地区の高齢者の状況(相談傾向)や緊急時の対応方法 ・居場所や講座の案内 ・質疑応答
落合第二 高齢者総合相談センター	9月21日	・新宿区消費生活センターによる消費者被害についての講話 ・民生委員・児童委員との懇談会
柏木 高齢者総合相談センター	10月4日	・関係各機関とのネットワークの構築を目指した意見交換
角筈 高齢者総合相談センター	10月25日	・「角筈地区の見守りについて共有しよう」をテーマに、関係機関による意見交換

3 ファミリーサポート事業（区委託事業）

(1) 会員数

	通常預かり		うち病児・病後児預かり	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
利 用 会 員	2,633 人	2,688 人	1,252 人	1,281 人
提 供 会 員	357 人	356 人	256 人	239 人
両 方 会 員	11 人	9 人	4 人	3 人
合 計	3,001 人	3,053 人	1,512 人	1,523 人

新型コロナウイルス感染症が収まってきたため、登録者数も増え、活動件数、活動時間も増えてきている。利用会員の登録数は増えているが、2年間利用がない方の継続確認での退会もあり、会員数が減となっている。

(2) 相談・問合せ件数

依 頼 者 及 び 依 頼 内 容 等		件 数	
		令和4年度	令和3年度
利用会員	新規依頼(病児・病後児預かり依頼除く)	294 件	254 件
	病児・病後児預かりコーディネート	26 件	34 件
	その他	746 件	649 件
提供会員		324 件	271 件
未登録者(新規登録について・他団体からの問合せ等)		1,001 件	1,034 件
合 計		2,391 件	2,242 件

(3) 活動実績

活 動 の 範 囲		活動件数(件)		活動時間数(時間:h)	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1 保育園・幼稚園の送り		1,733	2,149	1,891.0	2,259.0
2 保育園・幼稚園の迎え		1,245	966	1,354.0	1,035.0
3 保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り		543	312	932.0	659.0
4 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり		1,106	1,641	2,270.5	3,444.0
5 保育園・幼稚園の帰宅後の預かり		366	490	789.5	1,245.0
6 放課後の預かり		735	474	1,725.0	979.5
7 学校から学童クラブへの送り		173	34	180.0	66.0
8 学校の迎え及び帰宅後の預かり		12	31	30.5	92.0
9 学童クラブの迎え		197	216	216.5	248.5
10 学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり		267	176	643.0	416.0
11 学童クラブの帰宅後の預かり		20	9	40.5	20.0
12 学校の送り		210	316	223.5	329.0
13 学校の迎え		81	119	83.0	127.0
14 子どもの病気時の援助		10	32	37.0	112.5
15 保育園・学校等休み時の援助		1,035	1,117	3,476.5	4,196.0
16 保育園等施設入所前の援助		0	0	0.0	0.0
17 子どもの習い事・塾等の送迎		2,657	1,948	4,822.5	3,575.5
18 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助		242	169	791.5	564.5
19 保護者等の求職活動中の援助		4	0	11.5	0.0
20 冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助		11	13	41.5	43.0
21 保護者等の買物等外出の場合の援助		637	572	1,886.0	1,644.5
22 保護者等の病気時の援助		63	11	117.5	34.0
23 その他		290	178	389.0	240.0
合 計		11,637	10,973	21,952.0	21,330.0

(4) 利用会員登録説明会の開催

登 録		定期	窓口	訪問	子ども 家庭支援 センター	地域子育て 支援セ ンター ふたば	四谷 保健 センター	土曜日	ゆった り～の	合 計
新 規	令和4年度	281 人	87 人	7 人	23 人	10 人	－ 人	109 人	6 人	523 人
	令和3年度	236 人	55 人	7 人	30 人	－ 人	7 人	154 人	6 人	495 人
病児・ 病後児	令和4年度	125 人	1 人	1 人	14 人	4 人	－ 人	68 人	5 人	218 人
	令和3年度	116 人	2 人	0 人	15 人	－ 人	2 人	104 人	1 人	240 人

地域子育て支援センターふたばと四谷保健センターでの開催は、隔年で実施する。

(5) 提供会員講習会の開催

	申込者数		参加者数		修了者数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
合 計	49 人	45 人	43 人	41 人	30 人	29 人

(参加者数・修了者数は補講者を含む)

(6) 会員向け情報紙「えがお」の発行(年2回)

第62号 (6月30日発行) 第63号 (12月20日発行)	発行部数	5,000部 (令和3年度発行部数:5,000部)
	仕 様	A4判 4頁
	発行部数	利用会員、提供会員、福祉関係機関等

5 さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

1 地域団体との連携(重点事業)

(1) 社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進

① 新宿区内社会福祉法人連絡会(社福連)の開催

改正社会福祉法に基づき、「地域における公益的な取組を実施する責務」などに関し、区内社会福祉法人によるネットワークづくりをすすめ、法人間の連携と協働による公益的な取組をすすめることを目的としている。

令和4年度は、会員44法人等で連絡会を組織し、オンライン会議ツールやメーリングリストを活用した交流・情報交換や会員向け研修会の実施をとおして会員間の連携を図るとともに、三者連携(民生委員・児童委員、社会福祉法人、社会福祉協議会)の推進や社福連主催食品配付会の実施協力などに取り組むほか、CSR活動企業との連携・協働へ向けた関係づくりをすすめた。

	実施日	内 容	参加者数
幹事会	6月10日	・令和3年度事業報告 ・議決事項(令和3年度決算、令和4年度事業計画及び事業予算)の確認	7 団体 7 人
	8月30日	・第1回食品配付会報告 ・オンラインサロン、社福連ヒアリング訪問の実施及び第2回食品配付会の実施等検討	6 団体 6 人
	1月31日	・第1回オンラインサロン、第2回食品配付会、社福連ヒアリング訪問等実施報告 ・第2回オンラインサロン、令和5年度の取り組み内容等検討	6 団体 6 人
定例会	7月4日	【議決事項】 ・令和3年度決算、令和4年度事業計画及び収支予算 【報告事項および協議事項】 ・令和3年度事業報告・第1回食品配付会の実施 【講話および意見交換】 講話「民生・児童委員とは」 講師：若松町地区民生・児童委員協議会 会長 鱒沢 信子 氏	21 団体 22 人 ※1団体から 重複出席有

定例会	10月26日	【報告事項】 ・第1回食品配付会報告、第2回食品配付会協力等 ・社福連ヒアリングの実施 【情報交換】 テーマ「今後の連絡会の発展について」	18 団体 20 人 ※1団体から 重複出席有
	3月7日	【報告事項】 ・令和4年度連絡会活動報告等 【検討事項】 ・令和5年度連絡会の活動案について 他	20 団体 21 人 ※1団体から 重複出席有
研修会	6月17日	テーマ:「信頼しあって仕事をするために必要な2つ (信頼性・共同創造)のこと」 講 師: 東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷 晋一郎氏 内 容: 基調講演およびグループワーク	11 団体 43 人

	実施日	内 容	参加者数
オンラインサロン	11月8日	第1回目は入職後3年以内の新任職員を対象とし、会員同士が お互いに知り合うきっかけを提供し、気軽に相談しあえる関係づく りの構築を目的とした交流会を実施した。	9 団体 24 人
	2月24日	第2回目は入職後4年目から10年目以内の中堅職員を対象に、 やりがいや悩み、職場の課題等を他業種の職員と共有し、日ごろ の業務に活かすことを目的に交流会を実施した。	7 団体 22 人

②食品配付会～子育て応援！フードパントリー～の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、区内在住で食の支援が必要な子育て世帯(先着130世帯)へ食品を配付すると同時に、世帯の状況に応じた相談支援を実施した。

第1回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
8月13日	社会福祉法人二葉保育園	米2kg、区内福祉作業所製造のクッキー等、 インスタント味噌汁、即席ラーメン など	35 世帯
	新宿区立あゆみの家		41 世帯
後日配付			25 世帯
合 計			101 世帯

第2回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
12月11日	新宿区立障害者福祉センター	米2kg、区内福祉作業所作製のクッキー、 ポップコーン、インスタント味噌汁、即席ラー メン、缶詰など	55 世帯
	新宿区社会福祉協議会		59 世帯
後日配付			12 世帯
			合計

主 催	新宿区内社会福祉法人連絡会、事務局 新宿区社会福祉協議会
協 力	新宿区民生委員・児童委員協議会、新宿区町会連合会、新宿CSRネットワーク、新宿区保護司会四谷分区
協 賛	新宿5ロータリークラブ (東京西北RC、東京新宿RC、東京四谷RC、東京新都心RC、東京ワセダRC)

その他、多くの個人・団体から寄附金及び食品の寄附を受領した。

③その他

- ・社福連の発展を考えるためのヒアリング訪問及びハンドブックの情報更新の実施

会員が作成したヒアリングシートを元に、令和4年11月から令和5年2月にかけて事務局による44法人・事業所へのヒアリング訪問等を実施。

- ・ダイバーシティ・パーク2022in新宿への参加

10月1・2日、障害者スポーツを通して他者理解を深めるイベントへ、新宿CSRネットワークとともに参加。

- ・ポッチャ大会の実施

1月26日、地域住民や新宿CSRネットワーク加盟企業との交流を目的に、サッカーチーム「クリアソン新宿」の協力を得て実施、4会員が参加。

- ・アール・ブリュット展の実施協力

新宿CSRネットワークとの連携による福祉アート作品展(アールブリュット展)を実施。

- ・メーリングリストを活用し、団体間の交流と情報交換を随時行った。

(2) 民生委員・児童委員協議会との連携

①各地区民生委員・児童委員協議会定例会への出席及び懇談会の開催

社協発足に深いかかわりを持ち、今日まで新宿区の地域福祉の向上に携わってきた民生委員・児童委員と社協職員との相互理解を一層深め、さらなる連携・協働をすすめていくため毎月定例会に職員が出席するとともに、希望があった各地区民生委員・児童委員協議会と懇談会を開催している。

地 区	実施日	場 所	内 容
戸塚	7月21日	戸塚地域センター	「生活福祉資金と民生委員・児童委員活動」について
榎町	8月17日	漱石山房記念館	「災害時の活動」について ①発災時・初動～2日目の説明:新宿区福祉部地域福祉課 ②3日目以降の説明:新宿区社会福祉協議会
落合第二	8月19日	落合第二地域センター	「成年後見制度」について
四谷	2月20日	新宿歴史博物館	社協事業について 「だれもが安心して暮らせる新宿型福祉コミュニティ」の実現を目指して
笹方町	2月22日	牛込笹方地域センター	
落合第一	3月23日	落合第一地域センター	「新宿区内社会福祉法人連絡会と三者連携について」

②公私立保育園児への絵本の贈呈事業の支援

民生委員・児童委員協議会が行う公私立保育園・子ども園への絵本の贈呈事業に協力を行っている。

	令和4年度		令和3年度	
保育園・子ども園	81 園	377,726 円	81 園	382,277 円

(3) 町会・自治会等地域団体との連携

各地区町会連合会への社協事業説明等の実施

開催月	説 明 内 容
4月	①令和4(2022)年度 新宿社協ガイドの配布について ②令和4年度町会連合会 定例理事会・各地区定例会での新宿区社会福祉協議会からの事業説明について ③令和4年度新宿区社会福祉協議会 会費のご協力のお願い
5月	①地域見守り協力員事業説明と連絡会のご案内 ②新宿区ファミリー・サポート・センター提供会員講習会のご案内
6月	①ふれあい・いきいきサロン事業について(冊子の配布) ②新宿区成年後見センターについて(成年後見センターだよりの配布)
7月	①令和4年度共同募金運動の取組方針について ②受験生チャレンジ支援貸付事業の紹介について ③第1回食品配付会(フードパントリー)の実施に伴うご協力のお願いについて
9月	①令和4年度赤い羽根共同募金運動への協力依頼 ②生活支援体制整備事業普及啓発シンポジウムのご案内 ③第1回食品配付会(フードパントリー)の実施報告について
10月	①ちょこっと・暮らしのサポート事業について
11月	①令和4年度歳末・地域たすけあい運動募金への協力依頼について ②第2回食品配付会(フードパントリー)の実施に伴うご協力のお願いについて ③受験生チャレンジ支援貸付事業について(掲示依頼)
12月	①成年後見制度について(成年後見センターだより配布)
2月	①ふれあい・いきいきサロン事業説明と助成金活用について ②第2回食品配付会(フードパントリー)の実施報告について
3月	①令和4年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金実施に伴うご協力のお礼と報告について ②令和5年度新宿区社会福祉協議会地域ささえあい活動助成金のご案内について

8月、1月は非開催

(4) 出前講座の実施

	団体名	開催日	会 場	内 容	参加者
1	株式会社エプソン販売	6月9日	エプソン販売株式会社	新宿区社会福祉協議会について、他	61 人
2	柏木地域センター 管理運営協議会	7月2日	柏木地域センター	新宿区社会福祉協議会について、他	13 人
3	NPO法人ワーカーズコープ 新宿生活サポートセンター	7月13日	新宿生活サポートセンター	新宿区社会福祉協議会について、他	6 人
4	社会福祉法人新宿あした会 クリーンあした	7月14日	障害者福祉センター	新宿区社会福祉協議会について、他	7 人
5	社会福祉法人新宿あした会 新宿第二あした作業所	7月25日	新宿第二あした作業所	新宿区社会福祉協議会について、他	8 人
6	明治安田生命保険相互会社 新宿支社 渋谷営業部	11月24日	新宿住友ビル	成年後見制度について、他	15 人
7	落合第二高齢者総合相談センター	11月30日	落合第二高齢者総合相談センター	任意後見制度・地域福祉権利擁護事業について	12 人
8	新宿区勤労者・仕事支援センター 新宿わく☆ワーク	12月15日	新宿ここ・から広場	新宿区社会福祉協議会について、他	20 人
9	JCHO東京新宿メディカルセンター 附属看護専門学校	12月20日	JCHO東京新宿メディカルセンター 附属看護専門学校	成年後見制度・地域福祉権利擁護事業について	5 人
10	新宿区基幹相談支援センター	2月27日	社会福祉協議会	成年後見制度・地域福祉権利擁護事業・新宿区社会福祉協議会の事業について	26 人
11	戸山シニア活動館	3月13日	戸山シニア活動館	任意後見制度・地域福祉権利擁護事業について	6 人

※10はオンライン会議形式

上記以外に、各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会を出前講座として実施

(5) NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援

①NPO等市民活動団体との協働支援

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から例年8月に開催されている「京王プラザホテルボランティア・プラザ」での区内福祉施設及び市民活動グループの紹介及び説明は開催できず、昨年度からは新宿養護学校との交流(オンラインや一部対面)を年間を通じて行っている。

②新宿CSRネットワークの活動支援

	令和4年度	令和3年度
加盟企業	11 社	14 社
定例会	開 催 4 回(四半期に1度の開催) 内 容 オンラインで定例会を実施。社会貢献活動に関する情報交換および各企画の検討	
支援事業	今年度は新宿養護学校と8月と11月に手紙交換での交流を行い、1月に対面での交流を行った。また、箱根山駅伝大会への参加、社会福祉法人連絡会と連携し、ボッチャ大会や福祉アート作品展(アールブリュット展)を実施した。 ※例年、5月のごみゼロデー参加、8月は京王プラザホテル ボランティア・プラザの参加協力、同日には打ち水大作戦を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	

※CSR・・・企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の略称

③福祉団体・施設等が行う行事等への支援

	令和4年度	令和3年度
行事等の後援・協力	32 件	15 件
行事等の共催	1 件	1 件
民間助成団体への推薦	17 件	17 件

2 生活支援体制整備事業（区委託事業）

7 ページに記載

6 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

1 総合的な広報事業（重点事業）

(1) ボランティア情報の発信

①地区情報紙の発行

平成31年4月から、ボランティア・市民活動情報紙「しずく」と各地区の地域情報を発信する「地区情報紙」を統合し、新たな「地区情報紙」として発行を開始した。また、ボランティア募集情報は、ホームページに掲載し、ボランティアに関する様々な情報を発信している。

発行月	掲載内容	発行部数
4月	笹笹町・落合第二地区の取り組み	各回2,500部
5月	柏木・若松町地区の取り組み	
6月	【事業紹介】いつでも体験ボランティア	
7月	榎町・大久保地区の取り組み	
8月	四谷・角筈地区の取り組み	
9月	戸塚・落合第一地区の取り組み	
10月	落二・若松町地区の取り組み	
11月	笹笹町・柏木地区の取り組み	
12月	四谷・大久保地区の取り組み	
1月	落一・榎町地区の取り組み	
2月	戸塚・角筈地区の取り組み	
3月	令和4年度社協事業の取り組み、ボランティア保険の案内等	

配布先	ボランティア活動登録者、施設・団体、NPO、企業及び各種関係機関
掲載先	社協ホームページ、SNS (Facebook、Twitter)

②ホームページへの掲載

内 容	令和4年度	令和3年度
地区情報・事業周知等の記事掲載	144 回	179 回

※うち「ボランティアコーナーのコーナー」掲載数:24回

(2) 広報紙「けやき」等の発行

広報全体のテーマを、「知ってほしい」「参加してほしい」「親近感親しみを持ってほしい」とし、そのゴールを社協の支援者・賛同者（ファン）を増やす、そして「離さない」とした広報活動を行っている。

①広報紙「けやき」の発行（年4回）

令和4年度は、特集は「多様な主体が地域のために活躍できる新宿」、連載は「新宿区内の文化と、そこへ参加する地域団体」を掲載している。

第180号 (5月20日発行)	発行部数	86,000 部	
	仕 様	タブロイド判 4頁	
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)	81,000 部
		関係機関等窓口での配布ほか	5,000 部
	主な内容	(特集)外国籍のボランティア活動、居場所づくりや通いの場に関心のある方、(連載:新宿区内のアート・文化)染の王国・新宿、会費会員募集(払込取扱票)、講座案内、令和4年度事業計画・事業予算、読者参加コーナー、その他お知らせ	

第181号 (8月20日発行)	発行部数	86,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 81,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 5,000 部
	主な内容	(特集) サッカークラブが行うボランティア活動、飲んで応援！飲料自販機、CSRネットワーク、(連載: 新宿区内のアート・文化) 歴史が生きている神楽坂、講座・イベント案内、読者参加コーナー、令和3年度事業報告・事業予算、その他お知らせ
第182号 (11月20日発行)	発行部数	86,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 76,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 10,000 部
	主な内容	(特集) 体験を通じた障害理解のための活動、福祉教育・福祉体験学習、ヘルプマーク、(連載: 新宿区内のアート・文化) 都市に溶け込む現代アート新宿西口、講座・イベント案内、受験生チャレンジ貸付事業、読者参加コーナー、その他お知らせ
第183号 (2月20日発行)	発行部数	86,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 76,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 10,000 部
	主な内容	(特集) 利用・活動を通しての支えあい、新宿社協ボランティアコーナー、ファミリーサポート事業、(特集: 新宿区内のアート・文化) ネットワークが生み出す力しんじゅQuality、新宿区視覚・聴覚障害者交流コーナー、地域福祉権利擁護事業、読者参加コーナー、その他お知らせ

②事業案内パンフレット「新宿社協ガイド」の発行

発行部数	10,000 部
仕 様	A4判 12頁
配布方法	民生委員・児童委員協議会、町会・自治会、関係機関・団体など

(3) ホームページ、SNSの活用

①新着情報等の更新回数及び閲覧件数

		令和4年度	令和3年度
新着情報等 更新回数	ホームページ	155 回	229 回
	SNS※	Facebook	145 回
		Twitter	158 回
閲覧件数	ホームページ	191,557 件	275,293 件
	SNS※	Facebook	12,022 件
		Twitter	67,719 件

この他、LINEの配信を月2回行っている。

②ホームページ バナー広告の掲載

ホームページ上に企業・団体等の広告を掲載し、その掲載手数料を当会の地域福祉活動に活用する。

	掲載件数	掲載団体等
令和4年度	2 件	ブランド品買取サービス、イメージコンサルティングサロン
令和3年度	2 件	高齢者住宅相談窓口、福祉系専門学校

2 広聴事業(重点事業)

(1) 情報公開・個人情報保護審査会

①情報公開・個人情報保護審査会委員連絡会の開催

※審査会に至る案件が無い場合、審査会委員との会合を年1回実施し、情報共有を行っている。

第1回 令和4年9月5日(WEB開催)

- 議題
- ・情報公開・個人情報保護制度と審査会の役割について
 - ・保有個人情報の開示等の請求・協議会文書の公開請求事案について
 - ・個人情報保護関係規程の改正について

(2) 第三者委員会の設置

① 第三者委員による会議の開催

第1回 令和4年9月5日 (WEB開催)

- 議題 ・新宿区社会福祉協議会の苦情解決体制と第三者委員の役割
・社協における事例の紹介

7 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

1 会費会員の拡充 (重点事業)

	令和4年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額
個人会員	1,651 件	2,513,000 円	1,754 件	2,803,700 円
団体会員	419 件	2,224,000 円	430 件	2,246,000 円
合 計	2,070 件	4,737,000 円	2,184 件	5,049,700 円

※民生委員・児童委員への会費集金依頼を7月に行い、従来の会員宅訪問を中心に納付を依頼した。
また、各地区町会連合会や民生委員・児童委員協議会での協力依頼、社教窓口 (区内8ヵ所) での納付依頼の他、令和4年度からキャッシュレス決済を導入し、利便性を向上した。

2 共同募金の普及・啓発(募金文化の醸成) (重点事業)

(1) 共同募金会新宿地区協理会理事会

第1回理事会 令和4年8月19日 書面決議

- 議決事項 議案第1号 共同募金会新宿地区協理会会長及び副会長の選任について
議案第2号 令和4年度共同募金会新宿地区協理会共同募金(赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい運動募金)実施要綱について

- 報告事項 報告事項1 令和3年度共同募金地域福祉活動費(令和2年度募金分)の使途報告について(歳末・地域たすけあい運動募金)
報告事項2 1 令和4年度地域ささえあい活動助成事業の実績について
2 令和4年度ふれあい・いきいきサロン新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成の実績について
報告事項3 令和3年度赤い羽根共同募金 A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推薦結果について

第2回理事会 令和5年1月27日 出席者数 理事 12 人 監事 1 人

- 報告事項 報告事項1 令和4年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の実績報告について
報告事項2 令和4年度地域ささえあい活動助成事業の実績報告について
報告事項3 赤い羽根共同募金A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推薦結果について
議決事項 議案第3号 令和4年度東京都共同募金会赤い羽根共同募金地域配分(B配分)の推せんについて
議案第4号 令和4年度地域福祉活動事業の再配分について
議案第5号 令和5年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の収支計画について
議案第6号 令和5年度地域福祉活動事業の配分計画について

(2) 赤い羽根共同募金運動

- ・募金期間 令和4年10月1日～12月31日
・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、引き続き町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行ったほか、特別出張所窓口や関係施設・団体に募金箱の設置を依頼した。

・募金総額

令和4年度	令和3年度
3,013,024 円	3,020,315 円

・街頭募金

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、高田馬場駅周辺で職員のみで実施した。

(3) 歳末・地域たすけあい運動募金

募金は、歳末・新年を迎える区内の在宅重度障害児者等に見舞金品として贈呈した。また、社会情勢や募金実績を踏まえ、令和4年度は見舞金額を1万円から5,000円に変更して贈呈した。

- ・募金期間 令和4年12月1日～12月31日
- ・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、引き続き町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行ったほか、社会福祉協議会の事業を通じてつながった施設・団体に募金箱の設置を依頼し、募金額の増を生じた。
なお、街頭募金は、1町会が感染予防対策をとったうえで自主的に実施した。

・募金総額及び内訳

	収支項目	金 額	
		令和4年度	令和3年度
収入	募金額	8,081,144 円	7,827,381 円
	預金利子	13 円	11 円
	前年度繰越金	0 円	0 円
	収 入 合 計	8,081,157 円	7,827,392 円
支出	援護費	2,185,004 円	4,214,316 円
	見舞金	2,060,000 円	4,030,000 円
	交通遺児	0 円	0 円
	自死遺児	0 円	0 円
	在宅重度障害児者	1,845,000 円	3,650,000 円
	女性保護施設入所者	140,000 円	180,000 円
	母子生活支援施設退所者	50,000 円	150,000 円
	児童養護施設退所者	25,000 円	50,000 円
	見舞品	125,004 円	184,316 円
	乳児院児童	125,004 円	184,316 円
	事務費	443,021 円	475,713 円
	地域福祉活動費	5,453,132 円	3,137,363 円
	支 出 合 計	8,081,157 円	7,827,392 円

・街頭募金

	実 施 日	場 所	参 加 者	募 金 額
下落合東町会	12月17～21日 各日2回	ピーコックストア 目白店前歩道	町会会員 延30人	95,230 円

・その他募金

	実 施 日	場 所	参 加 者	募 金 額
四谷佛教会	12月9日	新宿区役所	四谷佛教会僧侶	236,300 円

例年実施している托鉢募金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となった。

3 寄附の募集（重点事業）

(1) 寄附金

広報活動との連携により、寄附金への理解をすすめた。

	令和4年度		令和3年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
一般寄附金	382 件	5,685,231 円	337 件	4,645,478 円
指定寄附金	29 件	5,980,612 円	34 件	5,673,625 円
合 計	410 件	11,665,843 円	※ 370 件	10,319,103 円

※令和3年度・令和4年度ともに、一般寄附金と指定寄附金の重複1件あり

(2) 寄附物品の受領・譲渡

	令和4年度	令和3年度
物品受領件数	154 件	187 件
地域団体・施設等への譲渡件数	154 件	235 件

※ 主に紙オムツやタオルなど未使用の物品を受領・譲渡した。また、令和4年度は食品配付会の他、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯等への支援として、多くの食品等を地域住民や企業・団体から受領した。

4 収益事業(自販機の設置等)(重点事業)

飲料自動販売機を設置し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金へ募金し、残りを地域福祉事業に活用する。設置先の拡充のため、各関係機関、民間事業所などへの周知を行っている。

- ・設置場所 社協高田馬場事務所 1台、東分室 2台、新宿中央公園 1台、正覚寺(四谷地区) 1台、新宿清掃事務所 1台、ソナーレ目白御留山(有料老人ホーム、落合第一地区) 1台、牛込保健センター(仮施設) 1台、岡芳本店 1台、レオパレスMIWA 1台

・手数料収入額

令和4年度	令和3年度
568,304 円 / 10 台	498,310 円 / 8 台

8 新宿社協の組織運営と組織基盤の整備

1 新宿社協の組織運営

(1)理事会・評議員会・推進部会の運営

①役員会

(ア)会長・副会長

計3回(5月23日、11月28日、2月27日)の開催

理事会・評議員会開催前に実施し、予定議案について協議を行った。

(イ)監事監査

第1回 令和4年5月11日、5月18日

令和3年度に係る事業報告等、計算関係書類及び財産目録についての監査

第2回 令和4年11月9日

令和4年度上半期事業報告及び各事業及び各拠点区分資金収支決算、貸借対照表等についての監査

(ウ)理事会

第1回 令和4年5月30日 出席者数 理事 17 人 (来所9人、WEB 8人)
監事 1 人 (WEB 1人)

決議事項 議案第 1 号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会経理規程の一部改正について
議案第 2 号 令和3年度事業報告及び決算報告の承認について
議案第 3 号 役員等賠償責任保険契約について
議案第 4 号 令和4年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)
議案第 5 号 評議員選任委員の選任について
議案第 6 号 評議員候補者の推薦について
議案第 7 号 令和4年度第1回評議員会の招集について

第2回 令和4年12月5日 出席者数 理事 16 人 (来所 10人 WEB 6人)
監事 3 人 (来所 2人 WEB 1人)

決議事項 議案第 8 号 令和4年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)
議案第 9 号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会定款細則の一部改正について
議案第10号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会個人情報保護規程の全部改正について
議案第11号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会個人情報保護規程施行規則の一部改正について
議案第12号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会情報公開規程の一部改正について
議案第13号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会情報公開規程施行規則の一部改正について
議案第14号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会におけるコンピューター情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について
議案第15号 理事及び監事候補者の推薦について
議案第16号 令和4年度第2回評議員会の招集について

第3回 令和4年12月27日

決議の省略となり、理事の全員18名の同意書及び、監事の全員3名の確認書により、理事会の決議があったものとみなされた。

決議事項 議案第17号 副会長の選定について
議案第18号 評議員選任委員の選任について

第4回	令和5年3月8日	出席者数	理事 17 人（来所 13人 WEB 4人） 監事 3 人（来所 3人）
決議事項	議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会経理規程の一部改正について 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会経理規則の一部改正について 令和5年度事業計画及び資金収支予算について 令和4年度第3回評議員会の招集について	

②評議員会

第1回	令和4年6月27日	出席者数	評議員 20 人（来所10人、WEB 10人） 常務理事 1 人（来所1人） 監事 1 人（WEB 1人）
決議事項	議案第 1 号 議案第 2 号	令和3年度事業報告及び決算報告の承認について 令和4年度地域福祉推進事業資金収支補正予算（補正第1号）	
第2回	令和4年12月21日	出席者数	評議員 20 人（来所10人 WEB 10人） 常務理事 1 人（来所 1人） 監事 1 人（来所 1人）
決議事項	議案第3号 議案第4号	令和4年度地域福祉推進事業資金収支補正予算（補正第2号） 理事及び監事の選任について	
第3回	令和5年3月27日	出席者数	評議員 19 人（来所 8人 WEB 11人） 常務理事 1 人（来所 1人）
決議事項	議案第 5 号 議案第 6 号	監事の報酬の総額について 令和5年度事業計画及び資金収支予算について	

③評議員選任委員会

第1回	令和4年6月14日	出席者数	委員 5 人 常務理事 1 人
決議事項	議案第 1 号	評議員の選任について	

④推進部会の運営

各地区社協部会代表者9人、専門分野や広域活動者、企業、行政、学識者等9人の計18人の委員により構成され、経営計画の進捗状況と次期経営計画策定への検討を行った。

第1回	令和4年7月8日	出席者数	18 人（来所11人、WEB7人）
内容	・委員自己紹介 ・部会長、副部会長の選出 ・第4次経営計画と令和3年度の主な取組みについて（報告） ・第5次経営計画の検討について（グループワークによる意見交換）		
第2回	令和4年12月9日	出席者数	15 人（来所9人、WEB6人）
内容	・令和4年度上半期事業報告 ・第1回推進部会の議論と職員の取り組み内容を踏まえた第5次経営計画策定に向けた検討について（グループワークによる意見交換）		
第3回	令和5年2月17日	出席者数	13 人（来所7人、WEB6人）
内容	・第2回の議論と職員の取り組み内容を踏まえた第5次経営計画策定に向けた検討について ・次年度スケジュールの説明		

(2) 社協部会の運営

民生委員・児童委員協議会、町会・自治会関係者、高齢者総合相談センター、学校関係者（スクールコーディネーター）、地域活動者、地域福祉関係NPO、施設・団体等から選出の委員84名で、特別出張所地区ごと9地区で社協部会を運営した。（各地区委員は9人、柏木・角筈地区は合同のため委員12人）

令和4・5年度の検討テーマは「地域共生社会を目指して、地域住民と専門職の協働による支援とは」で、各地区の社協部会で検討をすすめている。

【第1回】(WEB併用)

地 区	開催日時・内容	参加者数
東	開催日時:5月10日 14時～16時 第一部	26 人
中央	テーマの議論をすすめるにあたり、基調講演を行った。 「地域共生社会を目指して、地域住民と専門職の協働による支援とは」 講師:淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎氏	27 人
西	第二部 各地区社協部会の顔合わせ	28 人

【第2回】(WEB併用)

地 区	実 施 日						参加者数
東	四谷	8月25日	箆笥町	8月25日	榎町	8月30日	24 人
中央	若松町	8月23日	大久保	8月25日	戸塚	8月26日	23 人
西	落合第一	8月24日	落合第二	8月17日	柏木・角筈	8月24日	28 人

【第3回】(WEB併用)

地 区	実 施 日						参加者数
東	四谷	11月14日	箆笥町	11月30日	榎町	11月29日	24 人
中央	若松町	11月21日	大久保	11月16日	戸塚	11月28日	25 人
西	落合第一	11月9日	落合第二	11月16日	柏木・角筈	11月8日	26 人

【第4回】(WEB併用)

地 区	実 施 日						参加者数
東	四谷	2月13日	箆笥町	2月3日	榎町	2月21日	23 人
中央	若松町	2月6日	大久保	2月14日	戸塚	2月27日	25 人
西	落合第一	2月8日	落合第二	2月15日	柏木・角筈	2月9日	26 人

2 職員の育成

(1) 職員等の資質向上に向けての研修の実施

(回数、人数は延数)

① 職層別研修(外部研修)

	令和4年度			令和3年度		
	参加者数		人	参加者数		人
中堅職員研修(職歴2年以上)	4	回	6 人	6	回	27 人
新任職員研修	4	回	12 人	5	回	18 人
その他(役職員研究協議会ほか)	1	回	10 人	1	回	6 人

②専門・業務研修(外部研修)

	令和4年度			令和3年度		
	参加者数		125人	参加者数		170人
地域活動支援	4	回	5人	7	回	10人
成年後見・地域福祉権利擁護	15	回	31人	13	回	32人
自立相談支援・貸付	6	回	9人	8	回	14人
ファミリーサポート	7	回	11人	7	回	13人
法人経営	11	回	20人	12	回	28人
精神保健福祉	9	回	28人	18	回	51人
その他(救命*、認知症サポーター養成等)	6	回	21人	5	回	22人

*内部研修含む

③内部研修

	令和4年度				令和3年度			
	参加者数		494	人	参加者数		347	人
新任研修	4	回	31	人	8	回	47	人
昇任時研修	0	回	0	人	1	回	7	人
集合研修	8	回	463	人	8	回	293	人

上記の内部研修のほか、昇任選考対象者の研修、新任職員と局長・次長との懇談会及び各課内の研修を実施した。
令和4年度は、事業の歴史を伝える研修を定期的に開催し、第5次経営計画策定に関する研修も開催した。

④資格取得支援

	令和4年度			令和3年度		
	受験者数	資格取得者数		受験者数	資格取得者数	
衛生管理者	0	人	0	人	0	人
ITパスポート	2	人	0	人	3	人
情報セキュリティマネジメント	1	人	0	人		

- (2)「社会福祉士」の国家試験受験資格取得のための現場実習生受入れ
・社会福祉実習 1 人 12 日間

3 IT推進・情報管理

(1)IT運用・管理及び情報セキュリティ

①組織内IT推進体制を整備し、適正な管理運用を行った。

- ・IT推進会議(各課IT担当)によるシステム・インフラ等の運用・管理・利用サポート・各種調整等
- ・ITコンサルタント及びインフラ委託業者の助言による、情報セキュリティ対策
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・管理及び情報セキュリティの運用等強化(ITパスポート有資格者:10人)
- ・IT担当職員対象研修:1回

②ITコンサルタントの支援により、安全な運用及びIT人材の育成を行った。

- ・コンサルタント委託先:株式会社ループス・ネット
- ・指導(来所2回、WEB7回)、IT担当者の管理運用及びその他相談への助言・情報提供(随時)
- ・職員のITリテラシー及びセキュリティ意識向上への支援(新任研修:8回/eラーニング:3回)
- ・機器やシステムの管理・運用・導入、情報セキュリティ強化等への助言

③災害等への対応・検討を行った。

- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・ITBCPの更新

(2)IT機器・ネットワークの活用

ITシステム・組織内イントラネット・ネットワークの活用により、情報管理・共有及び事務効率化を図った。

【システム】会員総合情報システム、ファイルサーバ、グループウェア、財務・給与・人事管理・勤怠管理 他

【インフラ】クライアントPC77台、財務等PC3台、サーバー 他

【その他】ウィルス対策ソフト、データバックアップソフト 他

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、以下の対策を行った。

(1) 事務室及び会議室の感染防止対策

扇風機、サーキュレーターの使用と窓の開放を行う等、換気を徹底した。来所者・職員共に入室時の検温及び不織布マスクの着用を呼びかけ、徹底した。飛沫防止アクリル板、机、手すり等の消毒を毎日定期的実施した。CO2モニターを設置し、換気の必要性を数値で把握できるようにした。

会議・講座は、WEB活用と共に、感染拡大時には、可能なものは書面開催とした。会議室等で実施の場合、定員を通常の1/2とした。

空気の乾燥する冬季には、大型加湿器・空気清浄機を設置した。職員輪番でこれらについて給水・管理を行い、ウイルスの拡大しづらい環境維持を行う等、一人ひとりの感染防止意識の向上に努めた。

(2) 職員の感染防止対策

出社日の検温を徹底し、出社時の手洗い、執務時間中のマスク着用の注意喚起を継続して行った。

9 災害対策の推進

1 災害時危機管理対策

(1) 大規模災害時に備え、システムデータの遠隔地バックアップを毎月実施した。

(8・3 IT推進・情報管理(1)③の再掲)

(2) 訓練の実施及び防災意識の向上

令和4年度		令和3年度	
実施内容	実施回数	実施内容	実施回数
消防訓練(消防計画理解のための動画視聴)	1回	消防訓練(消防計画理解のための動画視聴)	1回
消防設備・避難経路確認訓練	1回	消防設備・避難経路確認訓練	1回
全職員を対象とした参集状況調査	1回	消火器試射訓練	1回
ITBCPの見直し	1回	防災訓練(防災計画理解のための動画視聴)	1回
		防災テント設営訓練	1回

※ 消防計画の内容を解説・補足した動画を職員が視聴し、その後参加型消防訓練として、高田馬場事務所内の消防設備、避難経路等、建物周辺の危険箇所の確認を行った。さらに、火災発生時の消火初動を確認・実行する模擬訓練を行った。

2 災害ボランティアセンターの運営支援等

新宿区と「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」の締結を行った。

※平成17年3月28日締結「災害時におけるボランティア支援に関する協定」は廃止し、新たに締結を行った。

(1) 「新宿区災害ボランティア養成講座」の実施

開催日時	内 容	講 師	参加者数
7月22日 18時～19時45分	災害支援の現状と災害ボランティアの基本について学ぶ 「災害ボランティア講座」 ①新宿区の危機管理体制と被害想定等 ②災害支援の現状 災害ボランティアセンターの役割と仕組み 災害ボランティアの心構え ③グループワーク 「講座を受講して、一番参考になったこと、自分で取り組んでみたいと考えたこと」	①落合第一 特別出張所長 ②特定非営利活動 法人ADRA Japan 三原 千佳氏	来所 3人 WEB 16人
開催方法	WEB開催 ※WEB環境のない方は先着5名を社会福祉協議会にて受講可能とした。		

(2) 地域での防災講座等への協力

実施日	内 容	参加者数
8月17日 15時～16時	榎町地区民生委員・児童委員協議会 懇談会 ①災害発生時の民生委員の役割 ②災害時における社協の役割について	32名 (うち新宿区1名、新宿社協4名)

(3)「新宿区災害ボランティア登録者 情報交換会」の実施
実施せず

(4)新宿区災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

①机上訓練

実施日	内 容	参加者数
8月15日 13時30分～ 15時15分	①新宿区災害ボランティアセンターの運営と現状について ②模擬ケースを使用した災害VCロールプレイング	13名 (新宿区5名、新宿社協8名)

②設置訓練

実施日	内 容	参加者数
1月23日 17時30分～ 19時30分	新宿スポーツセンターで災害VCロールプレイング (途中交代含め、運営者役とボランティア役に分かれた)を実施した。	45名 (新宿区12名、新宿社協33名)

(5)新宿区災害ボランティアセンター関係者団体意見交換会の実施

実施日	内 容	参加者数
3月15日 15時00分～ 17時00分	災害時要配慮者に対する災害VCでの想定と対応について意見交換を実施した。	10名 (新宿区2名、新宿社協6名、 ピースボート災害支援 センター2名)

※ 各年度の実績は、いずれも3月末日現在のものです。

※ 本会では、事業報告の附属明細書を作成しておりません。